京城日報
五日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

段總理辭職

段總理は四日總統府に到り內閣の決定事項に就き裁可を請へるに總統は斷乎として之を拒絕したるより總理は即時辭職し午後二時天津に去れり徐世昌、湯化龍兩氏は直ちに總統府に赴き目下調停に盡力中なり(北京特電)

獨逸潛航艇倍々暴る

伯林政府は三月一日以降は如何なる船舶に對しても無警告擊沈を宣言したり(紐育電報)

獨逸の對日墨提議辯明

伯林來電=三日獨逸外相チンメルマン氏は獨逸が合衆國に反抗の態度を執らん事を日墨兩國に求めたる行動の正常なるを辯明して曰く是れ單に合衆國が獨逸に對し宣戰を爲す場合に限り効力を生ずべき防衛的手段たるに過ぎずと(紐育電報)

勃牙利國王病氣危篤

墺國よりの報に曰く勃牙利國王は危篤なりと(紐育電報)

ル氏の對獨開戰主張

ルーズヴェルト氏は頻りに米獨開戰を主張せり(紐育電報)

米海軍費上院通過

米國海軍費五億參千五百萬圓は米國上院を通過せり(紐育電報)

獨探の中傷 と日本品の不評判

海外に於ける日本品の粗製濫造不評判は益々甚だしからんとし爲めに本邦製品の信用を失墜すること夥しきが其原因中には獨探の中傷も加はり居れりと(東京電報)

農相の出發

仲小路農相は五日關西地方視察の途に上れり(東京特電)

後藤內相旅行

後藤內相は本月十五日伊勢大廟に參拜し歸途京阪地方を遊說すべしと(東京電報)

郵船問題落著か

日本郵船會社幹部對株主間に於ける增資紛擾問題は澁澤中野其他諸氏の仲裁に依り結局今期配當を六割とし幹部改革を條件として表面無條件の如く五日の會合を以て纏るに至るべし(東京電報)

防長人懇親會

四日夜築地精養軒に於て防長人懇親會を開き出席者多數にして頗る盛會なりき(東京電報)

林公使通過期

林駐支公使は九日朝新羅丸にて釜山著の豫報ありたり(釜山特電)

從軍大佐歸朝

歐洲大戰以來露國軍隊に從軍せる陸軍大佐福田彥助氏は五日朝奉天著兩三日中に朝鮮經由歸朝すべし(釜山特電)

高柳大佐過通

露國軍隊從軍の途次參謀本部附陸軍步兵大佐高柳保太郎氏は陸軍大臣の命に依り露國軍隊從軍の途次五日朝入港の新羅丸にて釜山著同十時三十分發列車にて北行せり(釜山特電)

總督監獄巡視

長谷川總督は五日午後一時より武官副官秘書官等を随へ國分司法部長官の案內にて麻浦京城監獄を視察せり

赤十字總會期

日本赤十字社第二十五回總會は五月上旬東京市日比谷公園內に於て舉行す可き旨本社より朝鮮本部に通牒ありたり

判任見習試驗

判任官見習採用試驗は四月十五日より總督府及び各道廳(京畿道を除く)に於て執行の事となれり受驗希望者は三月卅一日まで總督府若くは道廳の內試驗を受けむとする官廳に出願す可し

關屋局長歸期

總督府學務局長關屋貞三郎氏は六日頃任吉出發歸任の途に就く可き旨某所に通知ありたり

辭令

三日附を以て左の通り辭令ありたり

臨時土地調查局監査官 酒井孝德
同 松井哲次郎
依願免本官

試補實務試驗

五日午前九時三十分より總督府第二會議室に於て司法官實務試驗を執行せり、同試驗は五六兩日間にて終了の筈なるが受驗者は木村四郎及根本成道兩氏也

公立普通校長會議

三月八日より二日間京畿道管內各公立普通學校長を召集し道廳會議室に於て會議を開く由

衛生講習會

京畿道警務部にては管下各分隊及警察署派遣所等の衛生主任を本廳に召集し五日より十日間衛生講習會を開催すべしと

經理主任講習會

京畿道警務部に於て豫て開會中なりし經理主任講習會は五日を以て終了せり

學齡兒童の屆出

本年四月より京城府各小學校に入學せしむべき府內の男女兒童は當局の豫想に於ては一千六百名內外に達すべしとの事なるが三日迄に受附けし數は京城九百八十二名龍山三百四十名合計一千三百二十二名にして尚ほ三百名許の未屆者あるらしく既に締切りは二月末にて終り居れるも便宜上當局は之れを取扱ひつゝあれど學級編成並に諸種整理の關係上未屆者は迅速に其手續きをなされたしとの事なり

城法院長南行

京城覆審法院長城數馬氏は五日朝八時半南大門發列車にて釜山へ出張せり

廣瀨軍經理部長

朝鮮駐箚軍司令部經理部長廣瀨主計監は四日午後二時著列車にて來釜し陸軍運輸部釜山支部、陸軍倉庫釜山支庫を五日は釜山守備隊、釜山憲兵分隊等の官衙の檢閱を行ふ筈なり(釜山)

森安博士歸任

森安醫學博士は母堂逝去の爲歸鄉中の處四日朝連絡船高麗丸にて釜山著同夜歸任

辭職して天津へ去れる段總理

水谷大佐入京

平壤鑛業所長水谷海軍大佐は五日午前八時五十分南大門著列車にて內地より歸任の途次入京浦尾旅館に投宿せり

笠井博士平壤行

小野田セメント會社技師笠井工學博士は三月三日京城より來壤旅館柳屋に投宿せり(平壤)

西脇忠北事務官

有志の西脇事務官送別會は四日夜七時より淸華亭に於て開催したるが頗る盛會なりしと而して同事務官は五日午前八時三十分發列車にて新任地忠北に向ひ出發せり

朝鮮無煙炭會社 江西鑛區の採掘

仁川商業會議所副會頭たりし加藤藤太郎氏の所有に係る平安南道江西郡無煙炭鑛區を買收したる朝鮮無煙炭鑛株式會社は創立事務所を京城商業會議所內に置き目下設立準備に著手しつゝあるが

▲早くも滿株 最近の報道に依れば同會社發起人及び贊成人は何れも各地商業會議所會頭其他有力者にて資本金を二百萬圓とし株式四百萬株は已に滿株となり近く第一回拂込(一株に付き十二圓五十錢)を行ひ出來得る限り敏速に事業に著手する計畫なりと

▲事業の內容 今其の事業の內容を聞くに該鑛區は總面積二百三十一萬餘坪に及び炭量は最少限に見積り約三百萬噸に及び假に一箇年十二萬噸を採炭するとして向ふ三十二年間の經營に堪ふ可きを以て同會社定款には存立期間を滿三十箇年となし居れり

▲鑛區の炭質 然して同鑛區の無煙炭は平壤鑛業所採掘の炭質と同樣にして極めて優良なるのみならず販路は無競爭なれば事業の安固なる他の有煙炭に比すべくも非ざるにて

▲經營の方針 經營方針としては第一期に於ては粉炭を其儘供給販賣する事と爲す可きも諸般の設備の漸く完成するに從ひ骸炭及び練炭の製造販賣事業を開始する豫定なりと因に仁川に於ても村谷吉藏氏及び有力者の贊成もあり旁々株式應募も多かる可き見込なり(仁川支局)

南鮮煙草會社の認可申請

曩きに東京神田の神田鐵藏氏は釜山煙草會社を買收し同社の規模を擴張し煙草界に大飛躍を試みんと計畫したりしも種々事情の爲に交渉不調に終はりたる際恰かも元東亞煙草會社の重役たりし藤田憲市氏主腦となり大邱の大石商會其他南鮮各地の煙草製造業者を合同し新たに南鮮煙草株式會社を組織し製造販賣の統一を爲し南支方面に活躍せんとする計畫あるを聞き神田氏は同會社の設立を援助し當初の計畫を成就せしめんと交渉を開始せしに南鮮同業者二十餘名の中既に贊同加盟せるもの十五名に達したるとにて愈よ南鮮煙草株式會社を創立することに協議決定し現に其筋に同會社設立の認可申請を出願せるが近く許可を得べき模樣なるを以て許可の上は直に大邱に本社を置き釜山に製造工場を設立する豫定なりと而して同社の資本金は一百萬圓とし一株五十圓二萬株なるが既に發起人に於て八千五百株を引受けたるを以て餘り四千四百株を一般に募集する筈なりと云ふ(釜山)

財界の一問題 プレミヤム付募株の弊

日本舍密製造株式會社が昨秋財界の好調に乘じ百萬圓の資本金を一躍五百萬圓に增資せんと額面五十圓の新株八萬株を募集し內四萬株は一株十二圓五十錢宛にて舊株主の株數に割宛て殘四萬株を百七十五圓のプレミヤム附にて公募したる際應募者約二千口ありしも例の諸說にて株式動搖の結果應募に一頓挫を來し引續き拂込者少なきより會社側は本年一月中旬其失權處分を斷行し一方新たに株式を募集したるため證據金は結局會社の沒取する所となりたれば應募者側にては極力會社の不當を鳴らし之に對し會社は商法第百十二條を楯に取り失權處分は適法なりと主張しつゝありしが遂に最近に至り應募者側の過激派たる桝田安次郎松下奈良三岩田金之助大西太兵衛等は同社取締役磯野良吉を對手取り各廿株の證據金二百五十圓宛合計一千圓の返還請求訴訟を大阪地方裁判所に提起するに至れるが金額こそ小なれ本件は實に所謂「プレミヤム付」なる事實の弊害を極度に暴露したるものゝ一例と謂ふべく昨今の如き財界の反動時代に於ては今後益々此種類似の事件必然惹起すべく其結果に依り目下日和見の位置にある各株主等の蹶起をみんか日本舍密は言はずもがな其經濟界に影響する所必ずや甚大なる可しと觀測され本件の成行は一般の注視する所なり(大阪支局)

全羅丸の損傷

二月末江原道鹽津沖にて坐礁せる朝郵汽船全羅丸の損傷に付會社にて元山より潛水夫を派し鋭意取調べし結果を聞くに其の破損は船體を通じ五箇所に上り最も大なるは龜裂二十尺の長さを有するものあり汽罐部にも損傷を負ひ居る事とて工作船來航の上積荷全部を放棄す可きも其の浮揚の可能なるや第一疑ひあり又其の浮揚をなさしめ得るとも之れを長崎若くば阪神の造船所に曳き行き得る迄の手數と時日とは少なからぬものと見ざるべからず唯坐礁場所が相當の鐵工所を有する元山に近く應急修理上材料取寄せ等の便宜はあれど何分破損甚大なるより會社當局も同船に對する今後の處置に付頗る痛心の模樣なり

▲工作船來航 全羅丸の保險を契約し居る東京海上保險の依囑により山科工業所の工作船は既報の如く二日全羅丸救助の爲め小樽を發し現場に直行したりとの事に付六七日中には到著の事となるべく又一方該工事の監督に任ずる山科工業所技師は五日の入京六日京城出發元山を經て鹽津に向ふべし而して會社は坐礁個所の陸地近くに全羅丸救助小屋を建て又日夜同船の見張りをなしつゝあり尚ほ吉田專務も都合により視察の爲め出張する筈なり

朝鮮浦鹽航路開始

朝鮮郵船會社元山、浦鹽間航路は結氷の爲め一時休止中の處近時漸く解氷に向ひつゝあるを以て三月二日より運航を開始せり但し鐵道局に於ては當分の內浦鹽行連帶大小荷物の取扱を爲す右は昨年浦鹽港一般貨物輸入禁止令實施の結果に由るもの也と

原田社長歸期

東上中の原田朝郵社長は決算期切迫並に全羅丸坐礁等重要社務山積に付多分來る十日頃迄には歸京すべしと

北京より

三月三日 小原烏兎生

五六日間北京に滯在中の處本日天津に相向ひ申候、支那の眞相は面白しと可申歟、嘆ずべしと可申歟、足此地を踏んで見ねば萬事が兎ても想像致し難く候、否表面よりの觀察丈けにては其眞相は盡し難く候、要するに水滸傳を一眼に、西洋文明史を一眼に具し、腐り切つた溝泥の中を歩む事と思へば大した誤り無き事と存候。

武昌黃鶴樓
愁殺す江や此の國の夕霞
京漢鐵道途上
下萠ゆる曠野胡砂臭う行き盡す
北京
埃臭き馬車驅る春や長安に

松平子嚴君重態

東洋拓殖會社理事松平直平子の養父從三位直已翁は八十餘の高齡にて華冑界の著老として著名の人なるが先頃來脉毒病に疾み容態輕からざるに付子爵は甚しく心痛中何分老體の事とて症狀に急變あらば子爵は直ちに東上の筈なりと

川上理事出張延期

川上東拓理事近く南鮮出張の旨既報せしが更に聞く所によれば松平理事嚴父重態等の關係上當分延引の趣きなり

井內鮮銀局長東上

鮮銀調查局長井內勇氏は行務を帶び五日朝南大門驛發東上せしが往復共約一箇月の豫定に付其の歸期は多分四月上旬に入るべし尚ほ氏は家族引纏めの上歸京する由

仁川支那視察團

近年仁川對支那貿易は益々發展の傾向を示し來れる爲め仁川に於ける貿易商及び商工業者の支那視察年々增加し來れるが今回仁川商業會議所にては時勢に鑑み之れが發起者となり來る五月頃三十日間の豫定を以て支那視察團を組織する由なるが參加希望者としては奧田、大石、加來、村谷、和田等の諸氏を始め約十名餘あり會費は約三百圓なりと(仁川)

仁川

▲兩會社發起人會 仁川奧田貞二郎氏外數氏の發起に係る燐寸船渠兩株式會社にては目下創立事務進行中なるが五日午前十時より商業會議所樓上に發起人會開催り創立に關する諸般の協議をなす由▲受驗壯丁數 仁川府居住本年度徴兵受驗壯丁は八十二名にして體格檢査受驗壯丁數は昨年に比し約四十名減少したり▲檢査は來る四月二日以降六日迄なりと▲商業教諭轉任 仁川公立商業專修學校教諭森林量氏は今回陽智公立普通學校長兼簡易農業學校長に任命され不日赴任すべし

開城

▲會計檢査 朝鮮總督府審査局は過日來開目下各官公署の會計事務檢査中なり▲苗圃消毒 專賣課開城出張所に於ては本月十日より九日間の豫定にて發直人蔘苗圃のボールド液消毒を執行する筈なるが右藥品は全部官給なり▲校長來任 開城第二公立普通學校には京城在勤小川校長死亡後久しく缺員中なりしが安河內氏任命され過日來任せり▲新入學生豫想 開城小學校本年四月よりの入學生は約三十名の豫想なり▲白田里小學校 東拓移民を中心として過般組織されたる開城郡白田里學校組合の小學校は目下認可申請中にて來る四月より開校の豫定也

木浦

▲客月貿易額 二月中當港貿易額は輸移出三十四萬一千二百十二圓輸移入十三萬零九百六十圓合計四十七萬二千百七十二圓にして大正五年同期に比すれば輸移出一萬九千七百零八圓の增加輸移入七千七百九十八圓の減少差引一萬一千九百十圓の增進なり▲客月檢米高 當地米穀檢査所に於ける二月中の檢米數を聞くに一月以來大阪米界不振の爲め商戰捗々しからざりし爲め僅かに五千四百四十三叺にして上格一千百五十二叺下格四千二百六十八叺不合格二十三叺なりと因に輸出先は全部大阪仕向なり▲客月水揚高 當水産會社魚市場二月中の水揚高を聞くに入船數五十三隻入荷三百四十三俵にして四千百四十三圓九十一錢なりと重なる魚類はチヌ、タイ、キサ等也と

人事消息

▲小林烏之助氏(安川炭坑員) 四日入京浦尾へ
▲井內勇氏(鮮銀調查局長) 五日朝家族同伴內地へ
▲松岡直滿氏(實業家) 五日朝來川へ
▲內山庄太郎氏(清州憲兵隊三等軍曹)▲中村卯吉氏(清州一等軍曹)▲三井總助氏(同一等軍曹)▲武石寨吉氏(公州一等軍曹) 五日朝退京
▲呼子友一郎氏(鳥羽宮憲兵軍曹) 母堂開忌の爲め釜山に赴き四日夜歸京
▲香椎源太郎氏(朝鮮瓦斯社長) 東上中なる同氏は十日內外に歸釜の筈
▲宮地時祿氏(大阪釜山支店) 三日夜出帆連絡船にて大阪へ赴く
▲大村百藏氏(龍山) 四日午前出港さくら丸にて東京へ
▲木口鐵三氏(稅務課長) 稅務監督の爲め四日全北管內へ出張

逐鹿夜話

△武富前藏相は昨今陽氣の加減か大分に若返て意氣軒昂老來却て青春の血を漲らすの概がある但な今度も佐賀市から有力な反對候補者が現はれたと聞き猛然起つて自ら反對候補者と雌雄を決せんとして曰く苟も吾輩の勢力圏內から政府擁護の旗幟を樹てさせてなるものか吾輩に取つては牛刀難鷄を割くの感があるが他の同志が持て餘すといふなら乃公が一蹴して遣る世間では吾黨の前代議士に辭退する者が多いと云ふが多數の中には屆古垂れる奴もあるサそんな弱腰は黨の爲に引込んで貰つた方が却て幸福だ憲政會は百七十人位出られると我黨の誰やらが吹聽した相だが迂闊極まつた咄だ吾輩は確に二百二十人以上と信じて居ると先生近來の談論は流石に隈侯門下の高足丈けに吹く〱其の點になると尾崎君などは遠く及ばぬらしい

△騷擾で柔道の得意を誇る鳩山一郎君も一片の證文で添田君を斷念させてやつと胸撫で下すと又々隣區から勁敵坪谷善四郎君が現はれ今度はお婆さんの睨みも利かず漸次席捲して來つて續々切り崩されんとする處へ一方同區內より樋口君出場し教育家の關係を辿つて鳩山君の得票を奪取せんとして居るので頗る面白い政戰となつて來た中心が鳩山君丈に見物は頗る興味がつて居るとは人が悪い

△國民黨の驍將高木益太郎君は何時も人の意表に出る演說をやる演壇に先づ蓄音機を据付け音譜は尾崎君の演說で一句尾崎君に發言させては針を止め尾崎君は唯今斯樣に說かれたが其れは全く條理矛盾である我輩の說に異論があらば此席で充分に反駁なさるがよいと蓄音機を指す蓄音機は針を動かさゞる限り沓として聲なく滿場靜まり返る諸君吾輩の道理ある說には流石の尾崎君も一言隻句反駁する事が出來ない是で理非曲直は既に明瞭であると喝破する時大向から大喝采今度も此の流で尾崎君の蓄音器演說を片つ端から打ち壞すとは面白い

武子夫人いそ／＼と印度へ
絶えて久しき夫君良致男に會ひに

九條武子夫人

日本の美人と薄命佳人とを併せて代表して居る九條武子夫人が夫君を慕ふの情に堪へず近く印度に在る良致男の

○跡を慕ふて 同地に赴くべしとは一般世間の傳へた所であるが風説は今日に到つて遂に事實を生むに到つた乃ち一日午後三時頃、郵船會社神戸支店に宛て來る五日神戸解纜の

○伊豫丸にて 甲谷陀若くは古倫母に赴きたきに依り一等船室一室御準備を願ふ尚ほ從一名付率ふるに依り二等一室合せ御準備下されたしとの意味を武子夫人の名にて申込まれたが夫人は

○結婚後僅に 一箇年間夫君と同棲した後良致男の洋行となり、今日に到る九箇年間、時折夫君より來る玉章の外絶えて相逢ふ機會もなきに拘らず神妙に永い間の

○孤獨生活を 續けて居たが今度夫君が印度から近く再び英京倫敦に引返すことゝなつたと聞いては矢も楯も耐らず、久方振に一目にても逢うて懐かしい睦言を交したいと

○近親に打明 けた所が誰一人の反對を唱ふるものもなく親戚擧つて武子夫人の意中に同情を濺いだので茲に初めて武子夫人の印度行は確定され、さてこそ今回郵船會社に向つて

○船室の注文 をなすに到つたのである、船室の準備を依頼された郵船會社神戸支店では直にその旨目下碇泊中の伊豫丸に通知し伊豫丸でも最も

○美しい一室 を特に夫人の爲めに準備をしたのであるが二日朝に到り再び夫人の名を以て伊豫丸の船室準備を取消し次回十七日出港の歐洲船宮崎丸に搭乘する旨通知して來た、是れは本月五日までに武子夫人の

○旅行準備が 出來ず神戸出帆には間に逐はないが爲めであるさうな、さるにても絶えて久しき逢瀬を印度の異域で遂げる武子夫人の想ひは傍の見る眼もさぞ嬉しく樂しいものであらうと思はれる（大阪）

紙屑で温突紙と雨笠が出來る
京城で棄てる襤褸は何うなる

京城市中で取捨てる紙屑襤褸類は莫大のものであるが未だ之等の利用製造業が起らぬ爲めに

×大抵は無駄 に成つて終つて居る而し市中に屑屋が無い譯ではないが内地の如うに各家庭から買集めて廻る小賈の屑屋といふものは無く鐵道局とか印刷局とかいふ處から纏まつた屑紙を買入れる商人が有るばかりで此等の屑商人の手で取扱はれる紙屑及び襤褸類は一箇年

×約七萬貫餘 で其の内洋紙屑が六萬貫和紙屑が二千貫其他は襤褸類であるが此の内和紙屑を除きたる紙屑襤褸類は九州地方に移出され和紙屑は北門外の朝鮮紙製造所の手に這入つて再製され温突紙及びカルモと稱する朝鮮人の帽子の上に覆ふ小さな雨笠に製造される新聞紙は一箇年に約十七八萬貫の取引が行はれ温突の下張り、商店の包み紙、及び地方の果樹園の果實の保護包みと成つて居る

春めくまゝに景氣付いて來た
活動寫眞界 各館共大奮發

例年の事ながら今年は特に寂しい寒さに鎖されて弱り抜いてゐた京城の活動寫眞も漸く氷が解けてくるに隨つてアカ／＼ドン／＼の樂隊の音も景氣よく

○活氣づいて 來た、正月のあとを受けて何時もバッタリ火の消えたやうになる二月の中旬までは各館ともお座なり寫眞でお茶を濁してゐたのが此の厄月の暗礁もどうやら無難に通り抜けさうな氣配が見込みが立つと同時に賑かになるに連れて觀客の足も

○大分浮いて 來たのを察したその道の策士は各々此の機會を利用して一氣に敵の光艶を挫かうとの魂膽は先づ先月の十六日から黄金館が特別大興行として新聞連載小説游草七巻五十場といふ長尺物を引いたのに現はれ相當の成績を擧げると大正館も負けては居らず

○日活撮影の 毒草を取つて一當りと思つた矢先き美事に先手を取られた返報から黄金館の毒草が終る頃を見計つて二十三日から新聞小説の猪野五巻といふ可なり觀られる寫眞を引くと之れも大當り黄金館よりは館が狭いだけに懸引無しの連日滿員と近年にない記錄を造る、すると今度は黄金館が然らばと言つた風に文藝物の

○サランボオ を出し撮影費三十萬圓登場俳優八千名で脅しつけると智識階級に好評を博してゐる内に大正館も叉節句を書き入れの三日からの矢継早の特別大興行昨年貰ノ節が出した名金など、並び稱されてゐる活劇物の『怪漢ロロー』といふ四十巻一萬呎の長尺連續寫眞を心にニコ／＼大館と稱して和洋喜の各三巻のものを出し

○鳥渡陽氣な ところを見せるかに餘興として日活會社に來聘してる英國のハレーといふのを出して淨瑠璃、落語、手踊などのイカモノ揃ひの興行なところを見せつゝも古く留つて、保惑の募ん踊めかすと黄金館も意地になり今度のサランボオがあさ二三日濟むさ大奮發で昨年帝館、模擬などに上場した特等五圓内外の

○入場料を取 つた文藝物の大寫眞を引き入場料も持に出しずて京城の斯界を震駭させようといふ寸法だとか、何時もながら陽氣の搖り目に起る大競爭目覺しく茲許暫らくは烈しく突き合ひの態で何れにも敗け色見ねず

光瑞師 南洋へ

大谷光瑞師の法弟山本義之氏よりの書信に曰「先般青島より申し上げ候通り小生等二月十九日正午上海へ上陸仕り候。大谷邸は佛租界亞爾培路一の五號に有之靜かなる田園の趣の家屋に御座候。小生等は光瑞猊下の朝鮮通過後約一年三箇月振りに久々の對面仕り欣情禁じがたく空谷跫音の感これあり候ひき、打見れば江南の天地は春の訪るゝも早く邸内の芝生も青々しく芽生ゐて前面一帶の畑には熙々たる春光陽炎を燃やし、煙るが如き木々の梢や漣波よする小の小流れなど物騒な市街とは別天地に御座候。猊下は二月廿五日郵船常陸丸にて南洋に向はれ候。埠頭には多數の見送信徒山の如く本年十月頃再び歸邸の由に候。小生等は廿七日上海出帆旅順に向ひ申すべく候。草々。

懸賞二千圓
東洋金鑛現金輸送馬車遭難事件

昨年十月六日平北雲山郡北鎭面東洋合同金鑛株式會社の現金輸送馬車が遂逸郡八院面龍城里にて兇賊に襲撃せられし事は當時報道したるが其筋にては引續き犯人嚴探中なるが一方會社にて這回犯人逮捕せし者には賞金二千圓を提供する旨發表せり其期間を大正六年二月より五月迄とし賞金は裁判確定後交付すべく其他一部捨擧又は逮捕の手引きを爲したる者に對しては右二千圓の内を若干交付すべしと

白晝千五百圓を強奪さる

大阪南區末吉橋通四丁目手形ブローカー業阪田貫一の妻よし子（三二）は夫の云ひ附けにて去る一月十六日の午後零時半といふ與甚中に五歳ばかりの子供の手を引いて南區順慶町四丁目なる加島銀行南支店に出掛けて千五百圓を引き出し百圓の紙幣ばかり十五枚を

▲小風呂敷に 包みこれを手に提げて歸途に就き他に用事に廻るべく子供をあやしながら新町橋東詰へと差し覓れる折柄後方より自轉車を驅けらせて追ひかけ來れる男ありよし子の傍へすれ／＼に近寄りさま車上より猿臂を伸し突然件の大金入の風呂敷包を引つ攫み驚き怖れしよし子が容易に手放さぬをもどかしがり

▲曲者は平手 を振つて力任せに横面を毆りつけ其隙にこれを強奪して逃げ出せるがよし子は強盗よ／＼と叫びながら追はんとすれば子供は恐怖の餘りワツと泣き出し母の側に縋つて離れず、兎角するうち曲者は自轉車に乘れる事とて遂に行方知れずなりたり此の急報に接したる南署にては白晝而も繁華の巷に於て人もなげなるこの大膽の振舞に出でたる

▲不敵の强賊 なれば草を分けても探し出さずばと高野署長指揮の下に魚森司法主任糸長警部補は探査隊を八方に放ちて今日に至るまでも更に手を弛めずして犯人逮捕に勉めつゝありしが探査嚴重の事を知るや曲者は大阪を落ち延び越前鯖江に逃れし處を此程同地警察署の手にて遂に捕縛となれりこの强賊は住所不定の山本晋作（三八）と云ひ他に强盗などの餘罪頗る多き見込なりと（大阪支局）

讀者文藝（一等には五十錢の懸賞あり）

△謎
題『春の郊外とかけて』
義太夫と解く心はいと長閑なる（糸咽喉が鳴る）（一等） 沙里院 清水十寸女
◎議員選擧と解く心は[illegible] 龍山 大石 銷牛
◎五角の[illegible]と解く心は[illegible] 京城 [illegible]
◎老人の目と解く心は[illegible] 釜山 正 [illegible]
◎[illegible]と[illegible]と解く心は[illegible]なり 群山 [illegible]
◎[illegible]の[illegible]作詩[illegible]（三作）に適してゐる 南山町 安岡 利郎
◎[illegible]の[illegible]と解く心は一[illegible]の人も有る 京城 曉 翠 亭
◎[illegible]同志の立合と解く心は[illegible]がありゆる 京城 朝 [illegible]

稀しい亂暴者
實父と爭うて自宅に放火せんとし喧嘩の仲裁人を毆打す

黄海道長淵郡速達面貊作里道村洞韓理賢（二八）は昨年舊十二月夜酩酊し實父と爭論の上自宅に放火せんとしたるも隣人に制止せられたるが同人は舊七月二日夜同里鄭致大方にて同人妻李順汝が雄洞の鄭聖化（四〇）と密會の現場を取押へ之を憲兵隊に申告すべしと脅迫し聖化よりの借金五圓を帳消しにせしめたる上密通陰蔽料として聖化に五十圓の借用證書及び順汝分を二十圓とし別の一通を提供せしめ其後同里呉徳剛方にて聖化に對し暴行を加へたる上報の五十圓を支拂ふべしと威嚇せし際居合はせたる鄭泰京（三七）が仲裁したるを憤り煙管にて泰京の左胸部を強く突きたる爲め泰京は其後約四箇月間に亘り臥床中なること發覺し理賢は長淵憲兵分遣所に引致取調中

氷上交通禁止

大同江の解氷は此程に至りて平壤税關倉庫下流大同門下等は最早氷上の交通危險の虞あるより平壤警察署に於ては三月三日より氷上通行を禁止せり

騙取して逃走す

忠南舒川郡華陽面完浦里朴善和（三七）は昨年十一月中同郡韓山面光岩里趙聖朴基容（二八）より前後二回に粗質出し名義にて金百六圓を騙取して逃走しゐたりしが此程舒川署に捕はれ取調べの上檢事局へ送らる

▲櫻井町一丁目▼ 町内のご自慢
【何處迄も印絆纏式に】

◇京城の淺草 千日前は此處

櫻井町通りは京城の淺草、千日前、活動寫眞の音樂隊にけば／＼しいペンキの繪招牌、通りの兩側には甘黨辛黨の店舗軒をならべて、裏の方には一膳飯屋の縄暖簾に勞働紹介所の古びた建物新らしとところでゴルキーの『夜の宿』の氣分とかゞ漂ふとか句ふとかそんなとはウキスキーの『晝の宿』でもこちらにはお構ひなし

櫻井町一丁目總代 中井忠三君

◇演事前掛、印絆纏式で行く ところ櫻井町の特色なるべし

併しながら此の町の今の繁昌はむかしからブカ／＼ドン／＼と囃し立てられた次第にあらず今はむかし狭い通りが温突家ばかりだつた時代には頗る臭い不潔らしい町並であつた、それが今のやうな純商人町の繁昌を呈し内地人戸數三百六十六戸、鮮人たつた四十九戸、合せて四百十五戸の町となつたは何かの仔細がなくては叶はぬ、町の總代中井忠三さんは云ふ

◇此の町の急激な發展は全く大正館と黄金館の出來た爲めでありませう、毎夜活動の始まる午後六七時頃から同じく閉場る時刻の十一時半頃には此の通りが埋まる程の人通りで日曜などはまた兵隊さんや子供衆がゾロ／＼ゾロ／＼、それに藥瓶や繃帶つけた總督府醫院へ通ふ人もなか／＼通ります、町には別に名物も偉い人も居りませぬが先づ

◇廉くて美味い飲食店から 米屋、肴屋、洋服屋、酒屋

どんなものでも手輕に急に間に合ひます、私が此所に來て悉麽酒屋を始めましたのは今から丁度十六年前、渡鮮當時から算へると此の十七日で滿十五年になります、町内で何か事のある場合には先づ大正館の新田君が筆頭で何くれとなくよくやつて呉れますそれで町内の入費は滅多のことでは寄附をつながぬ方針で

◇提灯なども私の家から店員を出して灯をともし

町内の費用は一文も出しませぬ、斯う致しませぬとあの町へ行けば町の費用がかゝるから他へ開店しようと云ふ足を踏む人が無いとも限らず從つて町の繁昌に影響致しますからなるべく他からは出していたゞかぬ方針です……』と終りに主人は店の酒樽を示しながら『これは手前の方の新町釀造場で出來る『清正』と『豐公』の二銘酒ですが大正博や拓殖博の檜舞臺でも此の通り褒状を貰ひました』と威張る、大に大閤さんでの心いき、つら抱負と見ゐる

灯ともし頃

四十を過ぎてチブスや猩紅熱に罹ると十中の九分九厘まで危うい▲現に兩三日前歸らぬ旅に赴いた青沼遞信局事務官の如き、其好適例だ、とある集會の席上でなにがし氏が云つた▲すると淺見高等法院判事が其の白い顏に目を細くして笑ひ乍ら……▲ナーニ必らずしもさうでない、現に吾輩が其の好適例▲▲だ、乃ち總督府醫院がまだ大韓病院と云つてゐた六七年前、不惑を超へた吾輩はチブスで入院して旨く治つた▲所が次の年には『ハシカ』だと云つて入院した、然し赤いフキ出物がしたり、全身の皮が剝けて終つたりした所を見ると正しく猩紅熱だつたらしい、然し之れにも勝つた▲其の翌年には盲腸を患らつて、三度蓮建洞の病院に横はつたが、之れもケロリと治癒して、今日の如く生きてゐる……▲と云つて、初老の人の罹病に付大に意を強くさした、と

髮を黒く長くつやを出し さらく
として髮の拔けを防ぐこと

御内意に依り謹製したる
純白 美顔洗粉

◇高貴方の御不自由

皆様御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りましたに就て、其向々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感せられる方が多く、殊に從來西洋品をお用ひになつて居られた高貴方の御不自由はまた一通りでありませんでしたが、内國製品使用奬勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事でありますが、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の思召として、或筋から弊舖へ誠に有難い御内意が傳達されました。

◇有難き御内意

其れは完全な研究の機關のある美顔白粉本舗で、佛蘭西製の洗粉と變らぬ洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御内意です。弊舖では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、それには餘程研究を積まねばなりませんから兎に角相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て顧問丹波、山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を擢り、苦心研究數箇月にして、漸う是れならばと自信のある洗粉が出來上がりましたので、早速御試用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顔洗粉なのです。

◇大家美容術 ルウヰズ孃

今東京で、始終高貴の方々の美顔術と御化粧方とに召される名譽ある美容術大家マリー、ルウヰズ孃は故國佛蘭西の巴里美顔術學校を卒業して日本へ來られ其の科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勤めるにつけて、美顔術上の特殊な材料はそれ／＼御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと矢張輸入杜絶以來誠に困つて居られたのですが、美顔洗粉が出來てからは、非常に喜ばれ、美顔術に美顔洗粉を用ひられるやうになりました。

◇何處が違ふか？

美顔洗粉は普通の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に清白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑らかにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行届いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよいほど色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。皆樣この御内意に依り創製したる洗粉は何の樣な洗粉でせうか。發賣後まだ間もないのに、大變な人氣になりましたのを見ても、此洗粉の品質の特に優れてゐる事がお解りになりませう、未だの方は早くお試しなさいまし、乾度お樂しみが一つ殖ゑます。

●櫻の紋打った紫縮緬の幔幕

に春の氣漂ふて=政務總監令孫の初雛祭

桃の節句の雛祭は年を追うて盛になりましたが中でも竹屋子爵は山縣公爵の曾孫に當られる千代姫の初節句の事とて其上母君の壽養子の方(二三)が添うした

●優しい習慣 に非常な趣味をもつてゐられる事とて中々の騷ぎで御座いました。先づ品の選擇から飾附裝置に至るまで壽養子の方の嗜好に基いて

●當代の粹を 盡したる雛人形を選み出して、麹町區永田町の官邸の應接室に隣つた洋館の奧の間に美しく飾り立てられました。雛壇は七尺五寸からある總檜造り、屋根は紅白

●張り分けの 合天井で、飾られたる内裏雛はすべて四組、中央に堂々たる二組の親王と妃の人形を置いて、兩側には色彩鮮かなる木彫りの内裏雛をあしらひ

●美しい官女 の人形を挾んで右近の橘左近の櫻、そのまた前の壇には精巧を極めたる五人囃しの人形、その他刀鍛冶から

●お能の人形 に至るまで一つとして眼を驚らさせぬ物はありません。而もその間にあしらはれたる華やかな蒔繪の諸道具は、紅い雛壇の緋毛氈と照りはね、山縣家の櫻の定紋打つたる紫縮緬の幔幕は

●春の外氣に 豊に搖らいで、流石は目白の老公爵の眼に入つても痛からぬ曾孫樣の成人を壽ほぐ雛壇よと感嘆されました。雛の主の千代子姫は、折柄小間使に抱かれて來て雛の前にあれこれと戯れては

●その紅い頬 に可愛い微笑を浮ばせてゐましたが、同家の執事は「目白樣(山縣公)は始終小田原にお住ひでゐられますから、お姫樣がお眼にかゝられる事は中々御座いませんが、その代り

●お逢ひの節 は非常なお可愛いがりやうです。また富士見町樣(山縣政務總監)は中々頻繁に御往來がありますし、今度のお節句にも大變お心くばりがあられましたやうです。また姫樣は

●昨年の五月 にお生れになりましたが非常に御壯健で大した御病氣にお罹りになつた事は一度もありません」と云ひました。(東京)

◇小兒と扁桃腺炎

久し振りで少し雪が降りましたが依然として天氣つゞきで空氣は非常に乾燥してゐます、從つて感冒にかゝる者が多く、それも

◇咽喉から 發するものが大部を占めてゐますから呼吸器の弱い人達は氣をつけねばなりません、殊に近來子供の扁桃腺炎が流行で、どこでも不意に高い熱を出すので驚いてゐますが、か弱い

◇四五歳位 の子供は捨て〻置くと往々生命に關する危險がありますから十分注意が肝腎であります。扁桃腺炎は主として腺病質の子供の罹り易い病氣で、その兆候は普通の風邪と同じく

◇初め惡寒 を感じてそれから熱が出るのですが、一番素人眼に分り易いのは首の傍が腫れて痛いことです。尤も扁桃腺がはれたからと言つても、紛れ易い

◇病氣の中 にヂフテリア、などがあつて、專門家でも時によると誤診を生ずる場合もありますから餘程注意をしないといけません、醫者を呼ぶ迄の手當としては咽喉へ

◇冷濕布を 施すのが一番で、それから身體を駿かに安靜にして居ればひどくなることはありません。然し手當が遲れると、遂にはその腺を上から切開しなければならぬやうなこともあつて非常に

◇重いもの となります。それからこの腺は首筋の左右にあるので一遍右が癒つても更に左が腫れ出すこともありますから、安心は出來ない、少し熱でもあつて

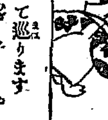
◇物を呑み 込むのに咽喉に痛みを感ずるやうなら早速その用意をする必要があります。

○板野檢事の檢證 平壤地方法院板野檢事は書記一名を隨へ三月三日大同郡斧山面に急行したるが既報の鮮人强盗殺人事件檢證のためなりと

神社とお寺と教會

○西本願寺(若草町) 五日午後七時半より月曜講演あり

○曹洞宗別院(若草町) 六日午後二時より婦人敬愛會を開く由



♣榮螺 鍋へさゞゐの尻だけ入る位に水を入れ瓷立て中から身を摘出したとへら〳〵と取り四剥にして三分か四分位に切り鹽にてもみ洗にして三四剥にして二分位に切り以上三種を交ぜ前の殻へ入れ炙汁味淋醬油とを交ぜし汁をさし、一度位煮立ちしならば小皿へ鹽を敷き上へのせて先の蓋をして薦める

♣小供の春

▽三 面白い遊戯 お膝を立て

♣お太陽樣が硝子窓にキラ〳〵して笑つて被居る樣な日、大空が游の樣に青い〳〵長閑な日、お庭にはお行儀よく大勢の子供等が並んで居ます。一番先登の太鼓を肩からかけた樂隊について奴凧や、鐵砲をもつた男の兒、羽子板お手毬を抱へた女の兒が孰れも林檎の樣な頬に嬉しい相な情をみせて靜かに待つて居ます

♣「先生、あんなにお行儀よく並びましたから參りませう……」と、實は先生には何の事か判らなかつたのですが段々訊いて見ますと今日は温かいから南山の公園へ散歩に伴れて行つて欲しいと云ふので、皆が柔順しく並んで待つて居たのでした

♣泥柳の枝にはお友達の小鳥が早く山へ行きませうと誘ふ樣に囀いて居ます。

♣仕舞から型をとつたお遊戯が始まりました。

「左のお膝を立て〳〵……ひ……だ……り……」左りですよ

♣一樣にお扇子を擴げて並んだ女の兒達は左のお膝を立て〳〵乾然とお口を結んで身構へをします。中には向ふ側の兒を見習つて右のお膝を立て〳〵居るお嬢さんもあります

♣「さあ男の兒達は間違つてないか見てあげて下さい。違つて居る人は修して下さいよ」先生のお許が出ると、今迄もぢ〳〵して居た男の子達平常から世話燒きの腕白連の事とて、卿妹の子の樣にバラ〳〵と女の兒達の後方へ廻つて、一人一人左か右かを檢べて巡ります

♣折角左のお膝を立て〳〵居るのに、態々右に更へさせて、パツスしてゆく樣に小い檢査官の茶目振りは到る所で發揮されて居ます。

商況

大阪株式

銘柄	拂込	五日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	—	—
神戸電鐵	五〇、〇〇	—	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—	—
和歌山電	二五、〇〇	—	—
台灣紡績	五〇、〇〇	—	—
鐘淵紡績	五〇、〇〇	三七、三〇	—
同上新株	三〇、〇〇	—	—
東洋精糖	三五、〇〇	—	—
大阪商船	五〇、〇〇	一九九、五〇	—
日本郵船	五〇、〇〇	一七八、一〇	—
大阪米穀	五〇、〇〇	三三、〇〇	—
東京新株	二五、〇〇	一二八、一〇	—
大阪新株	五〇、〇〇	三九、〇〇	—

大阪三品特電

五日前場	寄付	後場
三月限	八七、〇〇	八七、〇〇
四月限	八四、五〇	八四、九〇
五月限	八一、〇〇	八一、七〇
六月限	七九、六〇	七九、一〇
七月限	七八、九〇	七八、九〇
八月限	七八、九〇	七八、九〇

大阪期米特電

五日前場		
當限寄付	一五、一六	—
中限寄付	一五、四六	—
先限寄付	一五、六九	—

め止

下關期米特電

五日前場	當限	中限	先限
寄付	一四、二九	一五、二〇	一五、四〇
高値	一四、三五	一五、三〇	一五、五〇
安値	一四、二六	一五、二〇	一五、三六
止め	—	—	—

雜報

●期米當中停止 仁川期米當中兩限は別項の如く新期賣買の停止を爲したるが其理由は一昨後場立會に限し人氣大に沸騰し當限十三圓四十二錢中限十三圓三十四錢と[illegible]れ上げたるより取引所は相場容易ならずと認め今朝立會前に至り

●賣買を停止 したるものなり停止期間は定めらず

●人氣の平穩を俟つて 立會を開始する事とならん

●綿糸布昂騰 日曜前日に於ける三品は前場安後場高を移せしが今朝は前日の尻高人氣を受けたる上米棉高に刺戟せられ期糸は先限百七十八圓九十五錢と約六十錢方上向き現物一圓綿布十錢高の入電あり市況は一高一低の裡にも頗る底强き成行なり

●毛斯綸底强し 夏物の仕入期に入り需要筋より一齊に注文來りたると且つ原料高の[illegible]料載せられ[illegible]にありし處上げ一時二三錢方の上進を告げ[illegible]百番は五十四五錢搦みの相場現出するに至りたるが[illegible]安[illegible]ざるよりは之に倣ひ[illegible]成行くものあり

●氣配何れも分製品の稀薄 原料高と依然支那に[illegible]一服の相場再び下押し手放さず相場[illegible]底意强し

●セメント强硬 三四月の交は需要の最も旺盛なる時期なれば各地の[illegible]至らず市況閑散[illegible]を感じ居たる各工場は[illegible]を告げ淺野小野田の如き[illegible]契約を拒絶せる狀態を呈し最近に至りて内地相場は[illegible]上げをなし[illegible]共三十錢搦みの騰貴を現示するに至りたりといふ斯の如く[illegible]實なるものあれば更に需要[illegible]

●實現を豫想外の高値なり 至る昨夏の記錄を突破するに[illegible]

●土鹽の拂底 滿洲方面の[illegible]原料北地方は解氷後の出廻と鹽の拂底[illegible]交換に行ふ例にして[illegible]りたれど之等は專ら南鮮產の土鹽[illegible]無原鹽の[illegible]なければ何れも[illegible]

●苦汁の不足は土鹽の拂底 [illegible]結果生產費高みて[illegible]

●製造不可能 なる箇所[illegible]

下關相場

△朝鮮白米は小强し 其後市場の[illegible]著に過ぎざるのみならず昨今内地の正米の引締りに連れ產地の如き[illegible]好歩調を傳へ居る折柄米主の賣り[illegible]めにも拘はらず市況小强く之れが[illegible]今の出來値は左の通りなり

△大豆は弛まず 前報後[illegible]九叺[illegible]新義州產三百九叺水原[illegible]入ありしが中には先約定物[illegible]居て賣り物としての出廻りの[illegible]のみならず依然產地とのと[illegible]合なると引續き相當に[illegible]荷主の意向强きに依り市況强き[illegible]が出來値は左の通りにて引續き[illegible]に賣れ行きつゝあり

△小豆は弱保合 本品は依然見るべき注文なく[illegible]への賣れ行きに過ぎずして相變らず[illegible]報を俟つ[illegible]して[illegible]何れも別段各地の人氣[illegible]れざる爲め[illegible]特別相場の低落を見る[illegible]至らずこれが小口の出來値は左の通りなり

京城正米

近來の正米界は期米の高低に人氣[illegible]刺戟する場合少なく期米[illegible]反對に强硬の成行きを辿りたる[illegible]今日期米の[illegible]合の情勢を呈しつゝあり[illegible]てば相變らず頭强の態度を[illegible]精米の賣行き不振と精米値段[illegible]堪を感ぜらるゝが原料[illegible]値段は下落ぶりに下落ぶりとなり[illegible]く釘付狀態を[illegible]るもの[illegible]如し

品名	値段
△朝鮮一等白米	十五圓三四十錢
(常用)	十五圓五六十錢
△同上一等白米(常用)	十五圓二三十錢
△同二等白米(常用)	十四圓七十錢
△鎭南浦小豆(當用)	十一圓六十錢
△同	十一圓四五十錢
△鎭川大豆	十一圓五十錢
△同 溝大豆	十一圓六十錢
△慶山大豆	十一圓二十五錢

京城雜穀

解氷後の出廻を見越し[illegible]諸品概して軟調に陷りつゝあり[illegible]穀類の品のみ[illegible]

△大豆 内地當用の[illegible]切迫と滿洲[illegible]

●練と明太高

前項の鰊漁はもはや終漁期に近づきたるものゝ如けれど日本海なほ盛んに漁獲され釜山大邱に移送さる物勢からず市中まに弗々ながら賣行あり値段は釜山小形物二十六圓變物四十圓より三十一圓形物は四十二三圓極上の生物もほゞ同じ見當なり明太は昨今產地氣丈にて不引合となり市中迴著なし

[illegible]に因るものにして市中に於ける見當は[illegible]圓七八十錢見當[illegible]は一圓三四十錢内外なれば之を再製[illegible]は非常の値開きあり[illegible]からざるべきが近年官憲の[illegible]成程に鑑みるときは之等話[illegible]き多少の變動あるべしと思はる

定期賣買の栞、電信略號 一般來簿御案內可申候
田中金兵衛
電話 長一六二八番

●殺蟲劑の高價 需用期に入れる相應

[illegible]用の消毒や害虫驅除藥品類は目下需用期に入れる[illegible]の賣行きあるが之等市中[illegible]硫化炭素百斤二十二圓丹礬[illegible]百斤三十五圓見當[illegible]上物石油鑵入りにて七十[illegible]亞砒酸は百斤十二圓の卸値にて[illegible]暴騰せし青酸加里は依然高[illegible]今なほ百七八十見當を唱へ[illegible]明かならずと

●精米依然弱氣配

十錢處之十四圓六 反對に軟味

正米は引續き買物薄を唱へらるゝ强硬の市況を呈しつゝあるに拘らず地場精米所の卸値は組合標準値の十五圓見當米は兎角漸次値開きを見せ昨今にては十[illegible]合ひによるものにして輸[illegible]附近及滿洲方面に弗々積出[illegible]地場需要又捗々しからず結局今日の[illegible]場合精米能力の過剩を告げつゝあるが爲めなり

南大門の廻穀

△四日分 牛澤玄米三三八叺 牛澤玄米三一一叺 牛澤玄米二〇四叺 土城白米二〇四叺 水原玄米三〇一叺 牛澤玄米三三五叺 土城玄米一四〇叺 平澤玄米一二叺 水原小豆四二叺 水原白米五六叺 汝山玄米四一叺 平壤大豆四六叺 黑橋豆二六叺 興水豆二一叺 平澤玄米五四叺

△五日分 天安玄米一九六叺 大安豆五四叺 土城玄米一八九叺 平澤玄米二〇叺 西地滷胡麻二六叺 群山荏子一九二叺 鳥致院玄米六五叺 仁川小豆三九叺 全義玄米二七叺 成歡玄米五〇叺 金村白米六三叺 群山白米二〇叺 金村豆一七叺

△大麥 明六日入札の品二千五百石あり久しく前より强氣の見込となり居たり丈賈附けなければ氣配一變せむさ〻觀らる

△粟は依然弗々の回著あり大抵去年不作なりし江原道地方に仕向けらるゝもの〻如し氣配良好なり

仁川市現物場

△賴入津二千俵

△氣配小婑か

△正米手餘叺

△大豆入津五六百叺

△氣配强らず

仁川穀物市場 (四日)

△正米(十錢高) 内地著々好勢なる爲め市場買氣を呼び買人は久しく玄米移出により買見合せかゝりしに本朝直に上品物の賣り物現はるや買氣手控へ失れに連れ枯米に手付白米の米手に買注文續々入來ると共に底強き原料買氣手強く[illegible]

氣配依然强人氣を唱へ居れり

生魚市場

▲京城日の丸市場 連日追善多くして荷問への氣味あり出來たる入荷なり釜山慶尚地方より各地入り荷あるも[illegible]より内地鮮入りは依然北部入荷りし外[illegible]ご如何ならず値段は鯛二十七圓[illegible]

タイ一二、チヌダイ一七、入り一三、ヒラメ一〇、カレイ六、アナゴ一二、ハカチ三〇、タコ一〇、ボラ一〇、サワラ九、カキ九

仁川期米

▲五日前場 兵庫五圓四十錢

大阪天候晴天前寄十五圓六十九錢と一昨止同事の入電

當場當中兩限の如く立會停止先十三圓二十三錢と五錢高に寄付き四錢一步上進したるも賣物多く十七錢

確實(定期米賣買案內) 迅速(電話八番) 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正太郎

押したるが押目は又買物多く二十一錢と返し十八錢と押し二十一錢と返し二十錢で保合ひ大強氣を演出し依然强硬の成行を示して散會

▲五日前場 當中停止▲先限十三圓二十一錢四錢一錢二十錢一錢十八錢九錢二十錢二十錢十九錢二十錢八錢二十一錢二十錢十九錢二十錢十九錢二十一錢二十錢

市場零聞

▲依然强硬 天候晴天今朝大阪の變らざる入に十三圓二十三錢と始まり四錢と一步進めたるも當中の停止に利喰と見るべき賣物多く

▲前場の手振

重なる商内賣方⑦一萬餘石二萬五千餘石㊁二千餘石⑦八千餘石⑧三千餘石⑤各四千餘石⑤六千餘石⑤二千餘石等に對し買方⑦一萬五千餘石⑮二千餘石各五千餘石等にて其他は小口商内であつた

▲物に利喰賣多く軟軍の防戰的賣 先限は一時强硬の機先を制したる買進みに唱へたるも當中の停止に伴ひ利喰賣多く二十一錢と跳ね二十錢と押し再び二十一錢と跳ね返し十八錢丁度と戲合を告げ市況は[illegible]

▲大に賣る 今前場同店は一萬餘石の賣ありたりし

▲㋑大に賣る 同店よりは[illegible]

▲三能く賣る 前場同店よりは二千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲㋮能く賣る 前場同店よりは五千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲㋷能く買ふ 前場同店よりは四千餘石に上りたりとの事

▲全の商内 前場同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事

▲今の商内 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事

▲⑦の商内 前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲當中停止す 今前場立會前取引所は是非七十九錢に至り突然當中兩限の新規賣買を停止し

▲戰線延長乎

前項の如き當中兩限は今朝遂に新規の賣買を停止したるより全然内行はれず先限に集中する處となり一步上伸し十三圓二十二錢と寄付四錢と一步上伸したるが軟派は大に防戰的賣物を發したるより忽ち十七錢と押したるより硬派は茲に應戰するの止むなき場合となり兩軍入り亂れ激戰を演じ十三圓二十一錢と返し戲戰の結果を延長し來るは當然の結果にて或は强氣の勢び先限に戰線を移し[illegible]

▲當中の勝敗と先限の成行に依り自然解決すべく何れ雙方に[illegible]の上旨に値する者あらん

仁川米豆取引所

五日の五月限

寄付	十三圓二十三錢
高値	十三圓二十四錢
安値	十三圓十七錢
出來高	二萬五千五百五十石

前場	
一節	十三圓二十一錢
二節	十三圓十九錢
三節	十三圓二十錢
四節	十三圓十九錢
五節	十三圓二十錢

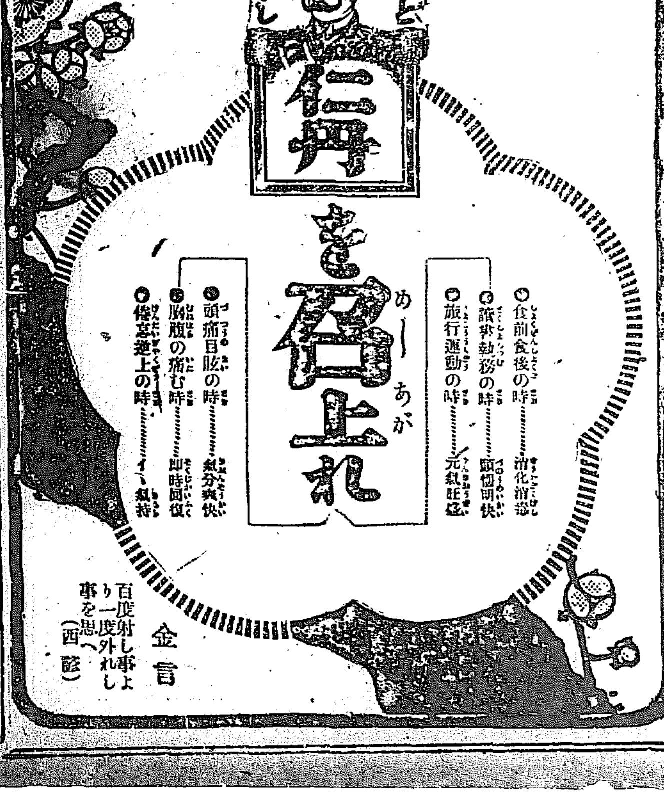
賣買取組高

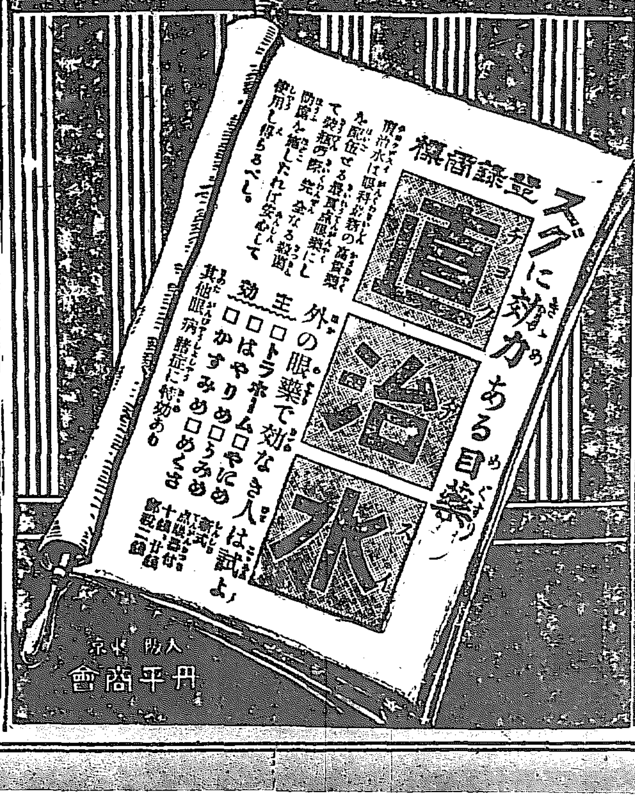
三月限	一萬八千二百石	一〇高
四月限	三萬六千五百五十石	二〇高
五月限	一萬七千三百五十石	四高
三日後場	前日と比較	

青物だより

暖氣につれ内地より積出し多く市場殷盛なり地場物又出づるれど最早品多からず京城奥羅市場建値左の如し

花キャベツ一〇〇、セロリー十錢東三〇、アケキ百把四〇〇、ホーレン草十貫目五五〇、慈姑二八〇〇、水菜三二〇、カブラ一八〇、大根一四〇、甘藷一四〇、蓮根二八〇





期米 廣告

「富之栞」週報……御報知進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
丸山亮平商店
電北一〇〇一 一〇〇二 一六五四

ハーモニカ尺八明笛 バイオリン新荷著 京城 セヤマ樂器店

發富之栞!!進呈
營業所(堂島濱壹丁目)
大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店
電話 北四六八番 北四六九番 北四七〇番 南五五六番
電信略號 (イマ)
直接受信電話(オサカイマ)

勸業債券貯蓄
第六十三回
外十月賦拂十五圓券
任意隨時拂十五圓券
廿五ヶ月賦 每月抽籤
進呈 規則一年賣價格表
常設豫約送料十錢
各券賣買價格廣告荷爲換
買著券送金大阪朝日新聞
大阪月賦中興之祖
三月二日大阪朝日新聞
引受 初回拂込郵便不扱
初回拂込 第一回直に賣約證
部賣十 一ヶ月賦 初申込料共一時拂
初賣價約十分一及申込料
初內金七十錢 後月利十錢
三月十五日限
十二錢 後月利十五錢
六通一冊 五十圓 初四圓 後二圓 二十錢 送料二錢
電話本局八〇五番 一〇四番
振替大阪九四一四番
福 小尾兩替店 大阪市東區安土町堺筋

◎毛の生へるまで
發毛器無料貸與
けをはやすきかい
濃厚なる黑い毛となるより驚喜の體狀報告等世上の實驗に願る好評を博し大學各醫學校に寄贈し研究所にては公益の爲め毛の生ゆるまで器械無料貸與す法便秘密に目的を達せらるゝ療法見本を送る
華で塗る樣な藥で毛の生えた例を聞かず其他の廣告などを見て貴重の金錢を空費する勿れ多年苦心發明され新る法特許毛の生ゆる器械にて新進歩し施せば生ゆる際、毛の日醫等は短時日に薄毛、剛毛、男、女、禿頭、病等
東京京橋區入船町一ノ一 東京器械 ハガキで申込

廣告

[illegible]の所在地道[illegible]ものなる[illegible]普通學校生徒は二月[illegible]五六十錢の[illegible]本年は[illegible]以上に[illegible]五日より引續き學校の小使室にて共[illegible]暴騰し農家にては馬鈴薯甘藷等の種[illegible]

●連絡船上陸客 三月[illegible]午前九時四十分釜山入港高麗丸二二等[illegible]

片岸甲山[illegible]條利八、同千[illegible]赤尾りき、池田[illegible]井上良介、同むめ、同てる[illegible]

△揭載一週間以内[illegible]通告者には五十[illegible]日報編輯局[illegible]

[illegible]報

明君道中記

第七十七席　田邊南龍口演

肥前國蓮池の城主龍造寺和泉守隆信の家老川上主膳が情けの計ひにて新右衛門は伜新之助を申し受けて我家へ伴れ歸り、親子の者は主膳の恩義に感じて朝夕隣家の方へ對つて手を合せて拜んで居る位でございます、處が新右衛門新之助の行末を考へましたが、川上主膳は伜を助ける位であるから怨むまいが、川上の縁家の者が伜新之助を憎んで仕返しといふので此の後何ういふことをするかも知れません、其故我が手許に置いては身の大事此の上は何方へか立退せやうと思ひまして或日新之助に對ひ新右『伜新之助其方も最早十四歳にも相成り軈て一人前に相成る故武藝の修行いたさねばならぬ、それに就て俺と兄弟の約をいたした者は筑後國柳川の藩にして眞影流の劍道指南をいたし居る上泉伊勢守の門弟戸塚源藏と申す者である、此の戸塚の許へ俺が書面を附けるによつて彼の地に至り源藏の許にあつて修行をいたす樣、委細は此の書状に認めてある故此手紙を持參いたさば必ず彼が世話いたしくれる、明日にも出立をするが宜い』新『委細承知いたしました左樣なれば暫時彼の地へ參つて足を止め武藝修行をいたします、それまではお父上御機嫌よくお暮し下さいまする樣』新右『俺のことは決して心配いたすな、只其方が腕前上達と聞かば此の上の喜びは無い、併し時々文通はいたす樣』新『畏りました』茲で新之助は旅支度をいたして肥前蓮池を出立いたし筑後の柳川へ參り彼の戸塚源藏方を訪れますと源藏は大島新右衛門の書面を見て早速新之助を奥へ通し挨拶も濟んだ後源『其方が父新右衛門と俺とは兄弟の義を結んだもの故其方を我伜と思つて稽古をいたし遣はすから其心得にて學ぶやうに……』新『有難き先生のお言葉、一生懸命に修行仕りますれば何分御教授の程を願ひ度う存じます』是から戸塚源藏が手を取つて新之助を仕込みまするが、素より幼年ながら藝才のある者一を聞いて十を知る十八才の時に免許を受ける腕前に上達いたしました、戸塚源藏は新之助を招き源『最早其方に敎ゆる處は無い、併し藝と申すものはもう是で宜いといふ限りは無いものである、依て此の上は其方に暇を遣はすから四五年間諸國を巡り修行いたして參る樣、總て他流に渡らねば實地に臨んで役に立ぬものである、高名の武藝者があつたなら其の人を顧つて修行いたせ』新『恩師のお言葉委細承知いたしました』源『左樣極つた上は一刻も早く出立をいたせ』と茲で新之助は武藝修行にと旅裝の支度萬端整へて柳川を立出でましたが是より七年間九州路を巡りましたが別にお話しもございません、それは高名の先生があらば其の人を訪ねて試合をいたし我が腕を試したばかりで是と云つて變つた事もございません、最早新之助も廿五才に成り腕前は熟達いたして何處の道場へ參りましても決して不覺を取つたことはございません、廻り廻つて周防の岩國へ入つて參りました、當所は毛利の分家六萬石の吉川監物殿の城下で誠に繁華な土地で錦帶橋なぞといふ名代の名所もございます、新之助は向ふを見ると一軒の小料理店がありましたから其家へ入り新『免せよ』女『入らつしやいまし、此方へお上んなさいまし』新『イヤ取急ぐから此處で宜しい、何か肴を見つくろつて酒を出してくれ』女『畏りました』と酒肴を其處へ持つて參りました新之助は表を眺めながら獨酌で飲んで居りました。

婦人科 産科 **二宮醫院** 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一二〇一番

産婆 川村ノリ 京城本町四ノ一三一 電話二三六三番

春が來た／＼ 木村屋パンとお菓子たもとに野へ山へ （京城明治町 電二八七）

三月七日 九星 舊二月十四日 戊申 本命 六白 乾 友引 先負

▲六白● 物を買ふの如き事有る日新事見合南方は吉▲七赤● 潤度よき日 轉居旅行入學 建築金利婚姻 移卸 皆萬吉▲八白● 起の日 轉居開業等皆吉女子の思はぬ良縁を得る▲九紫● 大いに振ふべきの日也 謹むの日 藝事は吉稱生に注意せらるべし▲一白● 好事の日 國立身出世の道に出づ 進んで吉待人良縁を得へ來る▲二黑● 慈悲心の起る日 轉居開業皆吉殊に慈善事業を計るに妙也▲三碧● 厄 新事手控への事は吉一切のかけ引な禁ず▲四緑● 平調の日なれども新事着目の方吉 勝負は妨げなし▲五黄● 暗劍殺の日 轉居行商入門 [illegible]

一櫻井公立尋常小學校敷地擴張工事
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ十以上
入札者ハ當學校組合區域内ニ於テ國税、府税及當學校組合費年額參拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ二ケ年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
右請負希望ノ者ハ當學校組合ニ就キ入札心得書『契約書案』仕樣書及現場等熟覧ノ上參月六日午前拾壹時限リ當學校組合ニ入札スヘシ即時開函
但シ參月參日午前拾時現場說明ヲナス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正六年參月貳日 **京城學校組合**

質 京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入） **堀佐營業所** 電話六三九番

可演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
三月三日より引續き特別大興行 ○世界的大寫眞と大愉快なる喜劇提供 ○寶石伊太利カブアの景 ○喜劇輕便なる生活法 △書劇羅松之助一派出演 ○舊劇『源平戰史白旗八郎』全三卷 平家の勢盛にして源家の殘黨詮議嚴しく偶々九死に一生を得て數馬山に入り牛若丸と共に源家再興を計企せる彼の白旗八郎の一代記にして松之助が最近懸命撮影の大史劇 △米國ユニヴァーサル會社大傑作世界的大寫眞 ○大活劇『快漢ロロー』全四十卷の内初編四卷 [illegible] ◎滑稽大活劇『ガッスルの惡戲』全三卷 △日活會社東京派立花貞二郎一派出演 ◎新派大喜劇『伯爵御次男』全三卷 現代 ◎餘興 英國人ハレー氏出演 [illegible]

二日目晝夜滿員 世界的大寫眞 **快漢ロロー** 全四十卷の内初篇の卷上場 **ニコ／＼大會** ガッスルの惡戲と伯爵御次男 餘興 **英國軒ハレー** 浪花節●淨瑠璃●落語●其他 **好評如沸 大正館**

壽館 京城壽町 電話一〇五〇
■壽館の危險眼力術 [illegible]

黄金館 早川直營 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
三月一日より特別興行選拔映畫提供 ▲伊太利文藝キユースイ、フローベル氏 不朽の作パスクアリ會代表的名作映畫 ▲四十一年前の歷史劇 大古典大史劇サランボオ 全九卷一萬呎 出現俳優無慮八千人、撮影費三十萬圓 [illegible] ▲大井、五味、木下大合同 新派大悲劇『うらみ』全八十場 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇
〇二月廿四日より毎夜五時開演 △女流浪界の花形廣澤夏菊一行 [illegible] 毎夜讀物續き △寛政力士傳（廣澤菊若）△柳生仙吉傳（廣澤照月）△娘（廣澤菊の）△水戸漫遊記（京山勝菊）△豊臣三番兒（廣澤菊榮）△清水次郎長（京山相生）△偵苦心談（京山勝勇）△義と勇（廣澤夏菊）

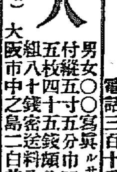
乳のよく出る藥 産後乳出なく又は平素乳不足にて御困りの方は一時も早く三錢切手封入申込下さい不思議によく出る藥を送へます 大阪市外天王寺四九八 いづみ屋

私儀二十年來姙産婦取扱に經驗あり御用の際は電話に從事致し地にあれば遠近に拘らず直ちに參上御申越費用等も至極經濟的に御相談に應じ御家庭上御困難の御方には御便宜御取扱可申候 京城永樂町二丁目六三番地 内務省免許 産婆 **倉橋順子** 電話三百十番

美人 （切手一錢増） 男女〇〇寫眞付縱五寸五分巾四寸五枚四十五錢八枚組八十錢密送料 大阪市中之島 二白美堂

簡單明瞭なる嶄新の通信法 十日の練習其境に入る
哲理治療法通信教授
自分で自分の疾病を撲滅し惡癖を矯正し尚他にも施し得て修養と簡易なる職業として高尚なる本療法が如何なるものなるかを知らんと欲せば先づ規則書を請求して卒業生諸士の告白に聞け
釜山府大廳町一丁目三十番地 朝鮮健全哲學館

[illegible] 家庭 [illegible] 増田本店



責任販賣 時計
經濟大王 銀側時計 活動と時間成功を望む人は西洋製本側時計を御使用あれ [illegible] 一圓五十錢
蓋形 三圓五十錢 兩蓋 五圓 [illegible]
品を附す御注文次第 [illegible] 大阪 **日野時計店**

何と言つても大學目藥だ
多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した。惡性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない。
各地藥店にあり　大阪 參天堂藥房

卒業試驗に
拔群の成績を得ようとする學生諸君は、
必ず**ライオン齒磨**を
朝起きた時、齒を磨き、
夜寢る前、齒を磨いて、
齒牙口腔を清潔に、咀嚼を十分ならしめ、胃腸の健全を保ち、營養を順調ならしめ、頭腦を明晰にすることが最も有効な手段です。

ライオン齒磨には粉製・煉製・水製の三種があります。殊にライオン水齒磨の含嗽は食後と寢前とに試みて特效があります。

東京本所區外手町 ライオン齒磨 ライオン石鹸 本舗 小林富次郎 支店 [illegible]

(756—6)

大邱覆審法院通譯生 山之井麟治著
再版 訂正 増補
鮮譯新熟語解釋
●解譯自在●習慣窺知●事務敏捷●携帶至便●
本書は鮮人と文書類の往復、受授を爲し又は鮮人の提出に係る訴願、情願、届書等に對して處決を與へらるべき地位にある人にして、未だ朝鮮熟語、俗字に通せず、爲めに一々翻譯に付せしむるの煩を除かん目的を以て刊行したるものにして、兼て未だ善く知られざる朝鮮の風俗、慣習をも容易に窺知し得らるゝ點に於て聊か他書と趣を異にせり、本書は文獻、備考、禮書、大典會、等有名なる會話篇、古代詞訟書類、俚諺を始め其他趣味ありと信じたる朝鮮稗書數十卷を參考として、一千三百餘語を蒐集し、之に一々明細なる解譯を施したるも、尚不備を補ふ爲書込欄を設けたり、著者の本書の爲に年を費す事一年有半、原稿を改むること前後五回、斯道名士の嚴格なる校閲を經て僅に完成する事を得たり、本書には吏讀の讀方、評方あり、尚朝鮮文の天爾遠波評方をも附錄として添付したれば、何人にても本書により普通朝鮮文を讀去するを得
●四六版 三百餘頁 ●定價五十五錢 郵税六錢
玉村書店發行
●發賣所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 合資會社 京城日報社代理部

(明治三十九年八月十日 第三種郵便物認可)

京城日報

三月六日(夕刊と合せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯 二一四番・營業 五二番・工場 六六〇番・振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人 奥田直　印刷人 小川三之

軍器改善の急務
現代戰術の要素

○士氣の旺盛なるは兵力の旺盛なる所以なり。兵員の充實を謀り、武器の精英を要すとも、士氣の之れに伴はざれば、那ぞ勝利の冠冕を贏ち得べき。さり乍ら武器は人知に伴うて改善せられ、實戰の經驗を重ぬるに隨つて一般の進歩を爲す。唯士氣の旺盛にのみ倚頼して、武器の改善を閑却する如きは現代戰術の許さざる處、殊に世界的動亂の實驗が如何に驚く可き武器の改革を促進しつゝあるかは、人或な之れを知る。

○獨逸の潜航艇ドイツランド號の魔力が海上恐怖の標的と爲りしが如き空中飛行機の進歩に至つては、眞に驚くべき有樣にして輕氣球にして、強馬力、一機にして能く射撃、撮影、通信の任務に堪へ、佛國の如き獨逸の空中を超ゑて露國に達せんことを期しつゝある有樣なりと云ひ、兩翅六十間に亙る巨大なる軍用飛行機さへ立派に操縱せられつゝありと云ふ。殊に軍艦に至つては、列國大抵分入八艦制を實現し、海上活動の科學的能力を發揮しつゝあり。

○然るに我國の如き、八八艦隊制の見込立たず僅に八四艦隊制を選び、夫れさへも尚後幾年の後を俟たずば完成の見込なく、潜水艇の如き能力に就て小田原評定を爲しつゝある狀態にして、空中飛行に至つては殆んど擧げて論す可き價値さへも無き位にして、區々たる興行師スミス、スチンソン等をして徒らに虚名を博せしむるに至りし如き、所澤、追濱の諸飛行將校は勿論、民間飛行家にして能く歐洲戰場の壯擧を學び得るや否や、飛行機と潜水艇は、現代戰爭の生み出だせる雙兒にして、其發達の如何は、直ちに勝敗利鈍に關す。近時國民皆兵論の如き識者の好んで主張する處となりしが、國民皆兵は何も今日に始まりし新現象に非ず。苟も帝國の臣民は、一朝有事に際すれば、總て皆兵たるのみ。唯新らしき刺戟を與ふるに於て皆兵論も亦全く無意義なりとは云はず。帝國目前の急務は要するに、軍備の充實なり、武器の改善なり。之れを閑却するに於ては、亞細亞モンロー主義も、黄色文明樹立論も、總て皆卓上の空論たるのみ。極東和戰の掃れる帝國は、今にして眞に深く省察すべきに非ずや。

議會の解散
再三なれ
山縣生

兒玉前首相が總選擧の結果反對黨が多數を占むるに於ては、政府は解散を再びするの覺悟ありと發言したとて、憲政會及び一部の新聞雜誌は之を以て許し難き暴論なりとなし、頻に政府並に前首相に向ひて攻撃の矢を放つて居る。本文の記者は政府が眞に斯の如き覺悟を有し、下院の解散を只に再びするのみならず、三度も四度も之を斷行することを希望し、此理由により來るべき總選擧が反對黨の勝利に歸する事を祈る者である。

記者が斯の如き希望を有する所以のもの、特別に寺内内閣を謳歌するが故に非ず、又憲政會に同情するが爲めにもあらず、實に政界の革新清淨を希望するからである。我國民の大多數が眞に憲政の意義を了解し、理想の選擧を行ひ得るの日は近く來るの望なく、政界廓清の途は、頗る迂遠ながら、再三下院の解散を行ふ他になしと信ずるからである。

代議政體なるもの、之を極めて平たく言へば、人民が其總代を送りて、豫算及び立法の相談に參加せしめ、其總代は政府の立案を研究して可否を決するの責任を有するもので、代議士は即ち人民の總代たり、代理人である。普通何事か相談ある場合に、我々が他に大切なる用務のあるありて出席し得ざる場合に、我々は相當の代理人を選び、これに權限を委任して其相談の席に出席せしむる次第なるが、かゝる場合に我々が總代たる人に對し、謝禮を厚くし若くは報酬を與へて依頼するが普通である。代議士は我々の利害に至大の關係ある國政の相談に參加せしむべく、我々の選ぶ所の總代なれば、學識人格共に最も優秀の人でなければならぬ。故に斯る人を總代に選ぶに當りて、我々は最も禮を厚くして懇願すべきが至當である。

然るに現在の代議士選擧の有樣は如何であるか。何人も知れるが如く、所謂候補者なる者は我々が懇願すべき筈なるに、却て低身平頭して我なくに懇願し來り、甚しきは金錢其他の利益を我々に提供して迄も、總代として選擧せんことを依頼するのである。冠履顛倒の甚しきもので、恰も辯護士が依頼人に報酬を提出して辯護を引受け、被告人が檢事に向ひて論告するの類である。斯の如くなるが故に、苟も自重自尊の心ある人、學識人格高き人は候補者たる事を欲せず。候補者として出馬する者は大抵品性下劣にして、厚顔無恥、八兵衛、權兵衛に叩頭し哀言を呈するを辭せざるの徒である。

斯の如き下劣の徒、選ばれて代議士となる。政界の腐敗は當然にして、彼等が國利民福を忘れて、私利私慾を增進するに焦心し、理想もなく、政策もなく、代議士といへば世間一般我利我利亡者の代名詞の如く感ずるは怪むに足らず。故に今日の政界を廓清するの途は、斯の如き下劣なる政治屋を一掃するにありて、之を爲す再三解散を行ふを最捷徑となすべし。

如今選擧場裡に立たんとせば少なくも一萬金を要すといふ。若し解散一再にして止らざれば、斯の種の政治屋は遂に窮途なきに苦しみ、已むを得ずして政界より退身するに至るべし。彼等の大多數にして政界を去らば、こゝに始めて革新清白の實は擧らん。僅に一回の解散によりてすら憲政會にも政友會にも再起を斷念したる者多く、共に候補者の乏しきに苦しみつゝありと聞く。解散再三ならば、所謂政治屋の大多數は影を潜むるに至るべく、然る時は國民も且投票を賣るに由なく、又叩頭して懇願し來る候補者なきに至るが故に。茲に始めて眞に學識人格共に高き人を推薦して、切に請ふて代議士たらんことを求むるに至るべく、斯の如き國士によりて議會が成立するに至らば、憲政有終の美を見るを得ん。

斯の如き見地よりして、記者は今回の總選擧が反對黨の勝利に歸し、政府をして解散を再びするの已むなきに至らしむるを希望する者なり。

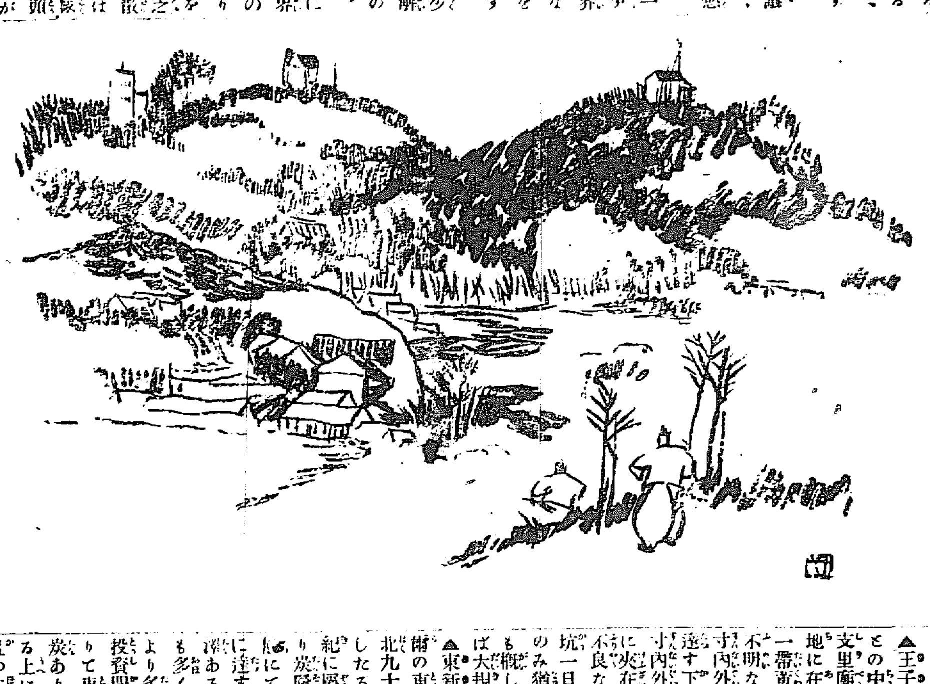
高麗人蔘の今昔(一)
總督府技師 富家正義

△高麗紅蔘 高麗人蔘なる語は支那に於て朝鮮より輸入する紅蔘に對する名稱にして即ち朝鮮京畿道開城附近に於ける現紅蔘專賣法に指定せる特別耕作區域たる開城、長湍、金川、平山、瑞興、鳳山、遂安、黄州、中和の九郡内に生産する人蔘より製造せる紅蔘是れを謂ふものなり

朝鮮に於ける紅蔘製造の事たる記録の徵すべきもののなきを以て其の開始の年代を詳にする能はざるも前掲の如く支那に於て之れを高麗人蔘と稱するを見れば五百餘年前の高麗朝時代に在りて既に同國に宣擴めたるを見る故に之れが栽培の起原は少なくも千餘年以前たるは推定するに難からざるなり

人蔘は往古より有名なる神草として東洋殊に支那、朝鮮、日本内地にも賞美せられ其効力の偉大と萬病に適するとて高價を有し容易に之を得ざるものとし之れを得ん爲孝女は其身を苦海に沈めたるが如きは稗史傳説之れを傳へて餘ありし之等は獨り我内地のみならず支那にありても之れを求むる能はざる貧者は高麗紅蔘を貸借し病める父母の枕頭に唯だ陳列するのみにて彼の父母は仕合なる子息を有し其の枕頭に紅蔘を置くことを得たり最早死すとも何の悔あらんと又た病者の枕頭に高麗紅蔘の存する多寡に依りて其の交際の廣狹、社會に於ける位置の輕重を知り甚だしきに至りては醫師は其多寡を見て大に病者の取扱に相違ありと云ふ如何に高麗人蔘の尊重せられるかは推して知るべきなり

先年崩御の光緒皇帝及び西太后陛下最後の御投藥は高麗人蔘を奉り爲めに數日御壽命を延し給へりと巷間之れが説をなすものあるを聞けり實に兩國上下に於て貴賤幼老の別なく高麗人蔘を珍重すること到底吾人の想像の及ばざるものとす宜なる哉彼れ支那人の極端なる守錢者なるにも拘はらず人蔘と云へば之に一斤數百金或は一本數千金を投じて敢て辭せざるは之れ不思議の一なりとす質に人蔘は未だ疑問として解せざる點頗る多し最も顯著なる不思議の二三を擧ぐれば此の神秘の靈草が獨り前掲の開城附近の地方に限られ産出し今日の學理未だ之れを闡明する能はず唯だ天の此地に幸ひせしむるものとするより外なきとするは之れ不思議の一なり又此の靈草の靈妙なる効力に關し幾多内外大家の研究するも容易に發見する能はざるは之れ不思議の二なり此の萬病通知の靈草にして一種の病害に侵され一時其の産額の減少を見たりしは之れ不思議の三なり今や洋藥盛んなるにも拘はらず人蔘の再び内外に賞揚せられ支那に於ては依然として需用衰へず此の靈草に對し政府は專賣を實施し年々同國より多額の金貨を得て國家財源の一とせるは之れ亦頗る不思議の四なりとす實に人蔘なるものは古來より現今に至るまで徹頭徹尾不思議の植物たるものとす聊か此國に於ける之れが變遷消長を記さんとす(此項未完)



□春の寫生帖より(仁川)　前川千帆筆

東部内蒙古鑛産(八)
△石炭

▽其他の炭礦(三)

▲王子墳炭礦 柳條子礦と井子溝礦との中間王子墳と稱する部落の南二支里廟子溝山と稱する低平なる丘陵地に在りて交通不便なり地質は附近一帶黄土に覆はる炭層は試掘中にて不明なるも現在の處二層あり上層五寸内外にて地表より四、五丈にして達す下層は上層と四尺を距て厚さ二寸内外中生紀に屬する粗粒質砂岩中に夾在す炭質は無煙炭なるも極めて不良なり本鑛は民國四年十一月より開坑一日僅に五百斤内外の出炭を見るのみ猶試掘中にて之れを判定し難きも概して炭層薄く且つ炭質不良なれば大規模の稼行に堪へざる可し

▲東新地炭礦 多倫縣に屬し多倫諾爾の東々南九十支里、外溝門子の東北九十支里人煙稀薄の沙漠地帶に面したる丘陵の西側に在り地質は古生紀に屬する硬砂岩及び粘板岩より成り炭層は粘板岩中に介在し炭層は一尺にて普通五寸内外なるも時に數尺に達する處ありて一定せず炭質は光澤ある無煙炭に屬し概して良好なるも多く粉炭なり本坑は民國四年五月より多倫諸街鎭守使蕭良臣三千元を投資開掘に着手し現在東西斜坑二ありて東坑よりは毎日四千斤内外の出炭あり要するに本礦は炭量不豐富なる上に出水ありて出炭意に任かせず且つ本炭の消費地なる多倫街には木炭の供給饒多なれば本礦の前途は有望ならざる可し

以上の外賀查區内には△潘庄子炭礦(錦西)△大窰溝炭礦(同上)△缸窰炭礦(承德)△黄姑屯炭礦(隆化)△四道溝炭礦(豐甯隆化縣界)△柳條子溝黑山窪炭礦(赤峰)等あり

日報詩壇
高田小芥

●東歸雜詠

謁大佛
舍利有靈神助多。曾聞龍袖洗泥波。佛看金碧伽藍裏。咫尺喜逢爺合掌摩。
評曰。華彩燦爛

迎初日於二見浦
一道威光發碧峨。滄溟空欲暗松杉。紅暾不揮人俄去。海霧靄來夫婦巖。
評曰。眞境眞語

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年三月號(定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘)

主要目次

口繪
仁川港に於ける滑貨狀況
鎭南浦及仁川の流氷
光陵林業試驗林
長髻及河川普通學校生徒の製作品

○警務部長に對する總督訓示
○官立學校長に對する總督訓示
○朝鮮婦人の本夫殺罪……國分司法部長官
○東部内蒙古の畜産……野口總督府技師
○朝鮮の氣候に就て(完)……平田觀測所長

行政 ○各道行政區域名稱一覽表(慶北)○忠南に於ける民情及行政の實狀○咸北の教育狀況
財政及金融 大正五年中の經濟概況○朝鮮產葉煙草の輸移出
○時局の朝鮮鹽に及したる影響○滿洲大豆の出廻りと取引○一月中の貿易○十二月中經濟概況○大正五年外國貿易額國別
產業 朝鮮に於て用ひらるゝ樹木漢字名○漁網用生絲
○華果の乾燥成績(慶北)○光陵林業試驗地の森林植物
交通及土木 本年の嚴寒と京城水道○水道給水管の凍結を豫防する法○一月中の鐵道運輸
學事 長髻及河川普通學校生徒製作品

○司法制度の沿革(完)
○野鼠室扶斯菌の利用に就て……中田勸業模範場技手
○工藝史料としての仙巖寺昇仙橋……渡邊總督府屬

外國事情 一九一五年以降露國經濟事情○哈爾賓一九一六年の氣象○支那本年の鹽稅收入○齊璦鐵道線の測量○間島の人口
△地方通信 △雜報 △敍任及辭令 △統計 △法令及通牒 △判決例

▲投稿ヲ歡迎ス 原稿締切期限毎月十日
▲販賣店 朝鮮各地の書店に販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

短期速成 建築科講義録
東京市麴町區飯田町三 帝國工業教育會

新學期開講懸賞募集 (奬學金七百五拾圓 總人員一千人限)
▲第八回
斯くの如き完全なる通信教授法の出現は實に斯界の一大新事實也
百聞は一見に如かず今日速に會則を要求せよ直ちに送呈す

速かに會則を見よ
會則及見本 無代進呈

(一)本會は漢文學の研究と國民精神の涵養を目的とし服部文學博士主唱の下に現代一流の漢學大家を糾合して設立せる者也
(二)本會は毎月一回講義録を發行して會員に頒布し且つ有益多趣味なる機關雜誌「新天地」を發行し會員に限り無代進呈す
(三)本會講義録は東京帝國大學支那哲文學研究室に關係ある諸先生合議の上執筆編纂せらるゝものにして斯界の權威なり
(四)本會は會長初め講師諸先生は毎號必ず青年訓話を執筆せらる
(五)本會講義録は解題、訓讀、字義、大意、講義、餘論の六項を設け説明懇切如何なる初學者と雖容易に斯學の精髓を學び得る
(六)本會講義録は毎號三百頁以上の大冊子にして併も會費の低廉なるは斯界の新事例也羊頭狗肉の類か兎に角見本を見よ

會長 東京帝國文科大學教授 從四位勳三等 文學博士服部宇之吉先生

大日本漢文學會
東京小石川西神田町 電話本局三七八〇番

タイヨー萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城日報社代理部

○獨逸飽迄斷交を避く
駐支獨逸公使の正式回答

駐支獨逸公使は三日午前十時外交部に到り支那政府に對して正式に回答せるが其の内容は要するに獨逸の潜航艇戰策は英國の封鎖政策と同樣なれば英國が其の封鎖政策を拋棄せざる限り獨逸も亦潜航艇戰策を拋棄せざるべし尚支那の船舶に對しては其の危險を脫せしむる爲め別に方法を講ず可く兎に角獨支間は國交斷絕に至らずとも妥協の餘地ありと言ふにあり（北京特電）

○黎總統の段總理呼戻し

黎總統は近親と協議の結果段總理を呼び戻すべく參謀長王士珍、唐化龍の兩氏を天津に派遣せり（北京特電）

○鄭家屯事件正式陳謝

鄭家屯事件陳謝使奉天督軍代理第二十七師參謀長馬龍潭氏省長代理交涉使馬廷亮氏一行は五日旅順に到着關東都督府に中村都督を訪ひ奉天省長兼督軍張作霖氏の信書を提出し正式に陳謝の意を表せり尚張督軍は一兩日中に我總領事館に到り陳謝すべしと（奉天特電）

○獨逸人は一種の殺人狂
米元老院にて獨外相の陰謀發表

華盛頓來電＝シャーマン氏は元老院に於て獨逸外相チンメルマン氏の墨西哥に於ける陰謀を自認せる記事を朗讀し次でブランドギー氏は武裝中立案に就て演說し獨逸人は殺人狂なれば之れを議論するは危險なりと述べ且つ曰く米國貨物船が米國砲手を搭載して出帆し英國の港灣又は海上封鎖區域の中立港に入らんとする際獨逸潜航艇の之を攻擊する事あらば米國民に生存能力ある限り必ず戰端を開くべく即ち防禦の目的を以て搭乘せしめたる我が砲手は必ず獨逸潜航艇を擊沈するに至るべし要するに獨逸が聯合國に對し二月一日以降無制限潜航艇戰を開始すべきを宣言したるは之れ均しく世界を相手とすべきを聲明したるに外ならずと結べり次に外交委員長ストーン氏は軍需品船に武裝せしむるは船舶を保護する爲めにして他の手段を用ふるの權能を大統領に許可する事に反對したるより妨碍現はれたるが氏の選擧區ミスリー州には獨逸系の米人多し（紐育電報）

○武裝中立案未決の儘閉會

華盛頓來電＝武裝中立案は採決に至らざるに時辰機は十二時を報じ之れと同時に第六十四議會々期は滿了せるが其の際ヒッチコック氏は元老院は大統領の要求を批准する能はざりし旨を宣告し且つ曰く之れが運動は文明國史上議事妨碍運動中の最も卑劣なるものなりと喝破せり（紐育電報）

○米軍事案と對日感情

米國上院は桑港に海軍根據地を設置するの案を二十六票對四十六票にて否決したるが斯くの如き軍備擴張案の葬り去らるゝは要するに日本に對する好感情の深甚を加へたる象徵なりと認めらる（紐育電報）

○地方官の更迭

五日左の通り地方内務部長警察部長理事官の更迭ありたり（東京特電）

山形縣内務部長 相良 步
任樺太廳内務部長（三等）
新潟縣警察部長 佐々木秀司
任山形縣内務部長（四等）
京都府警察部長 三矢 宮松
任福井縣内務部長（四等）
愛知縣警察部長 丸茂 藤平
任京都府警察部長（四等）
岐阜縣警察部長 高橋 守雄
任新潟縣警察部長（四等）
山口縣警察部長 松原 權四郎
任愛知縣警察部長（五等）
宮城縣理事官 池田 秀雄
任岐阜縣警察部長（五等）
鳥取縣八頭郡長 吉村 哲三
任宮城縣理事官（六等）
樺太廳内務部長 堀 信次
依願免官
福井縣内務部長 松村 才知
文官分限令第十一條一項二號ニ依リ休職ヲ命ス
【附記】新任山口縣警察部長は姓名電文不明に付き追て報道すべし

○農相地方視察

仲小路農相は阪神中國九州各地に於ける産業並に政況視察の爲め岡、村上兩局長柴山參事官山田、平熊兩書記官其他を隨へ五日午前八時三十分東京驛發列車にて大阪に向け出發せり（東京特電）

○郵船增資問題
調停者の意見に一任す

日本郵船會社增資問題は澁澤男、中野、土井、高岡四氏の斡旋に依り增資案より提出したる案件は全部無條件にて撤回する事に決し同時に同社株主臨時總會に於ては一旦形式的に增資案を否決し然る後調停者の意見に從ひ何等かの解決方法を講ずる事とせり（東京特電）

◎滿洲苦力缺乏
滿洲事業界の一大問題

滿洲の支那苦力は滿洲に於ける商工業其他各種事業の上に必要缺くべからざる一要素にして其の勞銀の低廉と其の勞力の優秀とは有ゆる方面に於て經濟的利便を與へ一般に調法がられ居るも昨年來苦力缺乏の聲漸く高く勞銀隨つて昂騰し今や苦力缺乏は滿洲事業界の一問題となれり

▲苦力缺乏の原因 は歐洲戰爭の爲め英佛露等の協商國側が戰時勞働者不足の缺を補はんが爲め支那の各方面より盛んに苦力募集をなすに至りたるにあり現に英國は先頃まで山東方面に於て苦力の募集をなし居たるが應募者減少せる爲め更に滿洲に手を延ばし滿洲方面より支那勞働者を招致すべく天津ウキリヤムホルプス商會をして奥地一帶にその募集を開始せしめ大連に於ては和記洋行に同樣依賴し越したり同洋行にては苦力募集が大連の各種事業界に悪影響を及ぼすべきを顧慮し一先づ差控ゆる事としたるも奥地方面にては盛んに募集中なり而して此の滿洲苦力募集は約三箇年に亙り繼續すべき計畫の由にて應募者は一旦威海衛に集中し同地にて身體檢査をなしたる上合格者を英本國に輸送するものにて頗る大規模なるが如し

▲露國の苦力募集 英國が南より北にまで手を延ばして支那勞働者募集に腐心すること斯くの如くなるに搗て加へて北滿方面に於ては露國に依り頻りに苦力の募集行はれ居り義成公司の手にて行ひたる苦力募集は一種の詐欺にて應募苦力は西伯利亞に於て饑寒交到の虐待を受け死亡したるもの甚だ多く覺に支那人間の一問題となりたれば露國の苦力募集には流石の支那勞働者も多少躊躇の色あるが如きも元來渠等は利の爲には如何なる榛莽の地にも進くを辭せざるのみならず最近の募集は東清鐵道の切符代賣業者が東清鐵道會社の認許と北京政府の許可を得て開始したるものにて相當に應募者ある模樣なり而して其の募集人員は數萬人の多數なりと云へり

▲支那勞働者の利用 は滿洲事業界の一脊髓をなせるものにて大連の商工業其他の各種事業一として苦力の利用に待たざるものなし然るに昨年中英國が山東地方に於て苦力募集をなすや山東苦力の滿洲移入は忽ち其數を減じ出稼ぎ苦力の滿洲移入は減退し其の影響は大連埠頭の荷役に及び其の苦力請負をなせる福昌公司は之が爲に非常に困難し社員を山東に派し直接募集に從事せしめたるも思はしき成績を得ざりき山東地方に於いて苦力募集の行はれたる當時すら其の影響此の如くなるに今その苦力募集の手が滿洲にまで延び來れるに於ては縱令大連の和記洋行が好意的に募集を手控ふるにもせよ滿洲奥地に於て英國の支那勞働者募集が大規模に行はるゝ以上奥地は無論の事その結果は大連にも波及し左なきだに苦力不足に苦みつゝある各種事業界に甚大なる影響を與ふるに至るべしと憂慮されつゝあり

要するに本件は滿洲事業界の重大なる一問題にして苦力缺乏は勞銀の騰貴となり夫れが銀價の暴騰と相待つて一層甚しき折柄なれば大連商業會議所の如きも目下本問題に對して研究をなし居れり（大連）

◎製粉會社計畫と小麥產額

滿洲製粉會社が資本金四十萬圓を以て第三分工場を龍山に設置せんとするの認可申請を爲したることは既報の如くなるが同樣朝鮮產小麥を原料として

▲製粉事業計畫 を進めつゝあるものに細瀨之佐氏等發起の平壤製粉會社及び鎭南浦に個人經營を以てせんとする製粉工場の計畫あり龍山分工場は一箇年約十萬石、平壤製粉及び鎭南浦製粉は何れも一箇年五萬石以上の小麥を原料として使用する豫定なるを以て上記三工場にして目下の計畫通り事業開始を見るに至れば三工場に於ける小麥粉生產高は合計九十萬袋以上に達すべきが如し今朝鮮に於ける小麥產額及び

▲小麥粉輸移入の狀況 を見るに大正五年度小麥產額は約百二十萬石に達し現に當局に於て改良種の普及、耕作の奬勵を行ひつゝあるを以て將來は漸次產額を增加すべし又小麥粉の輸移入額は大正五年度に於て約一千三百萬斤あり之を細別すれば內地よりの七百八十一萬斤、亞米利加よりの百七十八萬斤、支那（大部分は滿洲）よりの三百八十五萬斤と爲す然るに同年度に於て朝鮮より內地に移出したる小麥約七萬石あり此移出は從來亞米利加より日本內地に輸入されたる小麥粉が

▲歐洲戰亂の影響 を受けて船腹の不足を感じ輸入減少せる爲め內地商人が補充策を講ずるの目的を以て朝鮮產小麥の內地移出を計畫せる結果なるが如し而して前記朝鮮輸移入小麥粉一千三百萬斤と此朝鮮移出小麥七萬石を比較するに小麥粉一千三百萬斤を製出する爲めには原料としては小麥約八萬八千石を要する計算なるを以て結局大正五年度に於て朝鮮は小麥一萬八千石の入超を見たる次第なり

支那遍歷
旅行日誌＝第一信
中島生

支那を知らずして妄りに支那を論じ難し。支那國民を解せずして妄りに支那國民を論ずる亦難し。小生の此行、北支那並に揚子江一帶の地方及び南北滿洲を飛脚的に一巡するの此の旅行餘りに忽略に失す可きが故に、必ず一知半解の見聞感觸を齎らし歸るに過ぎざるべし。但だ、此の行、支那に於ける政治上の中心地と併せて經濟上の中心地を踏み、且つ列國努力の競爭場裡、邦人活躍の大舞臺を經歷するが故に、而して小生の多年欲して未だ能はざりし事の初めて實現するを得たるが故に、此の旅行が、小生自身にとり、啓發する處鮮からざるべきは、既に今日豫期し得と雖も、果して自他併せ裨益する所を得べきやは不肖太だ自信少き也。

支那視察旅行に於て、新聞記者としての小生の義務は、別に筆を執りて精詳を記し、大方の教示を仰ぐ事あるべく。此の通信は、旅行の道程、觸目の感興を隨所隨時に認めて郵便に託したる短信に過ぎず。

京城より奉天
一、陸氏と奇遇

阿部社長及び社中同人の好意により今日此場合に於て、豫て懷抱せる支那漫遊の志望を遂ぐる機會を得たるは小生の感謝措く能はざる所たると共に、又た愉快に堪へざる所に候。三月二日午前九時十分南大門驛頭を發し先づ北行して奉天に向ふ。此の列車には例の陸宗輿氏も搭乘し居れり。京城駐箚富士英總領事は安東まで氏を送るとて同乘せり。陸氏の東京に赴く途中を小生が平壤まで出迎へたるは二月の二日なりき。其の歸國の途中車を同じうするも亦一箇月後の二日也。相對して奇遇を喜び申候。陸氏の日本にて持てた事は御存知の通り也。歡迎又歡迎で氏も餘程草臥れたるらしく、暇さへあれば昏々として假睡致居候。大同江は兩岸を白く縁取れる外は總て解氷し、氷塊隨所に浮流、水は漣波を漂はせ、河底の石も數ふべし。鴨綠江を超ゆる時、日全く暮れ、四面昏黑、江心より眺むれば、兩岸の燈影賑かにして、前なるは安東縣、後なるは新義州なり。安東驛にて乘替、奉天行の列車は半餉の後に發せむとす。

大正六年三月二日午後七時四十分安東驛にて

二、唯だ熟睡のみ（第二信）

夜八時十分安東發。前途遠し、夜は熟睡するに如かず。直ちに仰臥して郎時前後を知らず。一兩驛のみ停車せるを覺れたる許り。醒むれば早や三日午前五時半著、驛樓上のヤマトホテルに入り休憩、一浴して快然。卓に向ひ此の信を認め申候。午前十時五分には京奉線の客として天津に向ひ可申候。

大正六年三月三日午前七時三十分奉天ヤマトホテルにて

◎立花中將出發

立花第十九師團長は五日午後九時五十分發列車にて平壤騎兵隊現地戰術視閲の爲め新安州平壤方面に出張せり

■山海關より
韓 和 龍

當關は萬里の長城の東端にて背山面海頗る天險の金城に御座候明末に吳三桂此の關を守りたりしが清兵に降りたるより遂に淸兵をして一擧北京に長驅せしめたる處に御座候沿道は實に茫々たる曠野にて高粱千里に連り而も好く耕作致し居候奉天出發後一晝夜間沿道に於て內鮮人の影だも見ること出來ざりしが當驛に到り初めて日本兵三人の驛前に整列するを見心中密に愉快に感申候當地の氣候は京城奉天よりも暖氣多く四十度內外ならんかと存候

過鴨綠江
鴨綠江流兩國分。岸頭鷄犬聲相聞。語言不解衣冠異。唯喜齋來同漢文。

◎京畿道地方費豫算

大正六年度京畿道地方費豫算は目下同廳地方係に於て編成中なるが三月二十日頃迄には脫稿を見るに至るべしと尙同年度豫算は大體に於て前年度と何等大差を見るべきものなきも恩賜金を同年度より地方費に計上する事になりたれば數字面に於ては殆んど倍額を見るに至るべしと

◎騎兵軍隊檢閲

羅南騎兵第二十七聯隊長土屋中佐は龍山分遣の第三中隊檢閲の爲め來龍し三日師團司令部五日軍司令部を訪問せり六日より檢閲開始せらる可しと

◎臨時貨物列車運轉

鐵道局にては荷捌きのため五日より當分の間南大門新義州間に臨時列車一往復を增發せしむ可しと

◎人見課長歸期

歐米出張中なりし人見農務課長は六日夜京城歸任の旨其筋に確報ありたり

◎鮮銀券發行高

朝鮮銀行券の二月二十五日より三月三日に至る一週間の總發行平均高は三千九百十一萬三千圓にして內正貨準備は一千四百八十六萬二十圓なり

◎辭令

敍正五位 陸軍歩兵大佐從五位勳三等 山形 閑
敍正五位 從五位 山岡 元一
敍從六位 陸軍憲兵大尉 長谷部 [illegible]

人事消息

▲武藤憲兵隊長（義州憲兵隊二等軍醫）五日夜發京
▲佐藤參三氏（平北第二部長）同上
▲小林安明氏（安州炭坑員）同上

■南言北語■

獨逸は日墨獨三國同盟だなんて飛んだ處で陰謀をやつて居たが見ん事失敗した▲イヤ失敗するのが當然だ日本をお引き合に出した處は流石はチンメルマン丈あつてチンな外交振を見せる哩▲墨國大統領カランザだつてカンラ〱と笑て居るのだろう來て鉢外交にも困つたものだがまだ〱何の樣な事をやるかも知れぬ▲支那の內閣も何だか總理が辭職したとか總辭職したとか大分もめて居るらしい▲其の表面の原因は黎大總統と段總理との衝突らしいが獨支關係が大問題となつて居る今日總辭職などは支那の爲に洵に不利益だ▲不利益のみならず獨逸に乘せらるゝ機會も出來る譯だ▲辭職の裏面は想像に餘らず何か大事の場合に總辭職なども一層時局を紛糾せるもので遺憾千萬▲之れを聞いたヒンツエ先生目玉をクル〱とやつて密かにニヤリあゝ恐ろしや〱▲東京工科大學の井口博士は頗る奇行に富んで居る人である▲器械學會で松方幸次郎君が演說をして『二と二を合せると四になると云ふ筆法で大正の今日は渡れない』と訓戒すると▲博士は眞面目くさつて『一寸待つて下さい二と二を合すれば矢張四ですかね』で滿場哄笑▲博士は多くの物は假名文字で書くそして振假名の代りに假名に漢字をふる▲下駄の齒が二の字になつて居るのは工學上から轉ぶと云ふので齒を竪につけて居るが轉ぶ率が尠ないと評して居る▲博士の家で鼠が暴れると電氣仕掛で電燈がパット天井裏に點つて鼠を吃驚させる事を工夫して居る相な▲兎に角餘ッ程變つた先生であるが此樣な變り樣は大に愛嬌があつて可い

文章世界
■小說 飛驒街道 江馬修
△最近評論界の缺陷 相馬御風
△冬の山岳美研究 丸山晩霞
■小さな低氣壓 田山花袋
△二兵卒の銃殺（評） 田中純
△新しい俳句の解釋 荻原井泉水
■小說 密告漢 小川未明
■現今詩壇に對する私見 吉江孤雁
△嵐の卿より
△文藝ゴシップ
■長谷川二葉亭論
△藤村作「桐畑」の英譯
△模倣と獨創
■二つの本能
三月號 定價三十錢 博文館

土地賣却廣告
京城府苑洞百四十八番地 朝鮮家屋付き 日本家屋 宅地 二十四坪 六十坪
同府西本町一〇番 宅地 六十一坪
同西部面鉢山…
楊州郡別內面德松里 （蘆原驛より約十町） 宅地 二百六十二坪 畓 四萬三千…坪
振威郡一北面…里 （京釜線烏山驛より約三十町） 二萬六千二百三十坪
京畿道…郡府內面南部
二百十五坪
京城南大門通三丁目 川勝京城支店

實業之日本
已れを知る法 新渡戶博士
我が實業家の三大惡弊 浮田博士
■實業家一代日物語（三）
■學問の選擇と…
■京都で會つた實業家
「將來の運命 增田社長
最も有利なる學問選擇法
我社廿周年記念事業 小學校長米國派遣
△旅費其他一切我社にて支辨す
△詳細の記事は本號に發表す
鐘紡と富士紡
■附き離き談……某大成金の話
豫言者
△獨逸千載一遇の好機を失する何時か
△戰爭の勝敗を一擧に決するは何時か
△本年六月七日に獨逸は何をなすか
△媾和條約成立期日と其條件は何か
△列强の一大事變と逸帝の運命如何
理想鄉 所は南洋ボルネオ 僅か十年で三萬圓
■耳と喉と鼻の保健法……佐藤敬大
■書生から大貿易商
定價一年八圓… 實業之日本社 東京京橋 振替三二六

京染吳服悉皆部開始
染工場京都岩上通り四條北へ入 城米清祐
商標 茶
山城宇治産地出張 宇治屋茶舗
京城本町 電話長四一二番

…合ありたり(東京特電)

任東京帝國大學工科大學敎授 從三位勳二等工學博士 淺野應輔 (一等)

五百二十一圓十五錢に比すれば七十圓三十一錢の增收四年三月收入の三百九十二圓九十五錢に比較するときは約二百圓の增收入を示せり▲農事講習…年の通り各郡內…なる農民…員とし一郡二十五名限り期間は七日間農事講習書に依り郡技術員之れが講師たるべく又從…に對しては…補助として金五十錢宛を給與し修業證書を授與すべしと又女子にありては一家の主婦にして直接農事の補助をなすもの▲內…十二圓五十錢女子講習員三百十八人食費補助四十二圓消耗品五十六圓臨時人夫賃十九圓八十八錢を要すべしと▲監督補助員試驗 平安南道…際に於て…の者を採擢して之れに試驗を科し採用すべしと▲國語普及會 平壤國語普及夜學會にて於ては二月一日午後四…業生に證書を授與し本田平南府尹賓を代表して告詞を述べ卒業生總代答辭を述べ閉式したるが本日…回江原道第一部長より…(春川)▲記…再任武藤李王職事務官 赴任…新川發松田京春自動車出發官民學校生徒の見送…

◎伊豫丸先づ
武裝して歐洲へ
何んな行動を執れば好いか
敵の潜航艇を發見した際は

郵船伊豫丸(六三二一九噸)五日十時武裝して神戶港發歐洲航に就けり(大阪特電)

▼武裝商船の威力

之れに就いて遞信局海事課に潜水艇に對する武裝商船の威力、效能の程度を質す、曰く商船の武裝は

◆假裝敵船に對しては砲を有して居るといふ事が强味を示す事になる、商船の武裝が潜水艇の武裝に勝つてゐるとすれば敵を恐れしむるだけでも有效である、今日の潜水艇は大抵四吋の砲を有するから之れに對するにはそれ以上の砲でなければならぬ、その効力は敵艇が自船の附近に浮き上つた時、又は自船が

◆近い所に突然潜水艇を發見した時、之れを砲擊して沈下させその間に逃げれば宜いのである、僅かな武裝でもそれに要する海兵その他の技術者の給料その他に多くの費用を要するので普通は武裝をせず歐洲航路の船でも大阪商船の如きは武裝の効力は餘り無いものと見て武裝を實行しない方針らしいが郵船が武裝を實行したのは昨今會社の

◆財政が裕かなのによるだらう、武裝するとすれば砲の操縱者は海兵を備ひ入れねばならぬだらうが之れには色々の面倒があり船長に全責任を負はす代り乘組軍人を船長の指揮下に置く事とする場合は別だがそれでないと頑固な

◆軍人氣質と比較的自由な船員氣質との融和が旨く行くか何うかが案じられる、要するに商船の武裝は之れを攻擊に用ひては案外効力が薄いが示威、或る場合の防禦には有効だらうと思ふ云々

◎裏を洗へば苦しいことも……
先づ〳〵三錢は結構‖ある老妓の話

今度の線香代値上げが持ち上るとそれに附帶して新に藝者全體に對し一本三錢宛の配當をするといふ案が出た表面は萬事派手づくめで外出と言へば俥の上に横ツちよに澄まし返り

器座敷へ出ると石入りの指環なんぞピカ〳〵さして不景氣といふものは全體世の中の何處にあるんだらうといつた顏をしてゐる藝者といふものが一本三錢ばかりの端た金を特に分けて貰はなければならぬものだらうかといふ質問を京城では相當名の通つた婆さん藝者に發して見る、曰く、それはもう世間でも大抵知つてゐる通り

器姿等の稼業ほど裏表のあるものはありませんよ、先づ藝者を色別して見ますと子供の內に賍く買はれ又は養女になつて藝道一切を仕込まれたものを丸抱へといひ年期を定めて衣裳も抱へ主持ちの契約で住み込む者を半自前、衣裳は自分で或る年期まで勤めるのを衣裳自前、衣裳自前の方は同じ年期でも前借金を多くするのです

器此の外に飛貸といふのは抱へ主からは唯金を借りるだけで年期も無く衣裳も飯代も一切自分持その代り線香その他の所得は抱へ主との契約で四分六分とか五分々々とかに定めるほかに前借金に對する利子を月二分位宛月々納めてゆく傍ら元金を入れて行くのですが、之れは普通の抱へのやうに身體を縛られる事がない代りに

器一月休んでも直接自分の頭にかゝつて來るのですからよく賣れゝば賣れる程經費が嵩んで元金を入れるなどといふところまでは到底行きません、三十過ぎても自前にもなれず廢業も出來ず額に寄せる縮緬皺を白粉で隱してピイ〳〵してゐるのは多く此の數借をしてゐる人達なんです

器錢は姿達もツイ近頃まで此のピイ〳〵組だつたのですが、お蔭でどうやら自分の身體になつたのですが自前になれば附合は多少增す代りに飯代を含んだ看板料を月二十圓を連名を出して貰ふ置屋へ納めればいゝのですからいくらか樂になります、姿達の若い時からの經驗によりますと可愛さうなのは半自前衣裳自前

器數借の妓共衆で相當に賣れる妓はようございますが、箱の出の少ない人になると始終お小遣ひにも困り勝で髮結錢湯錢にまで不自由をして泣きたいほど悲しい事があるのです、それに子飼ひの丸抱への妓は身の廻り一切の事から小遣ひまで貰ふ事にはなつて居りますもの、矢張り人に言へないお金の入用もありますから

器今度の三錢の配當などはまあ有難い方でせうよ、藝者の內幕を洗ひ立てれば隨分變な事が飛び出しますが兎に角餘り綺麗なものではありません

♣母ごゝろ 試驗室から出て來た坊ちゃんを傍へよんで『一寸問題をお見せなさい』とお母さんのご心配

◆職業から見た京城の人々

府の調査に依れば大正五年十二月末現在に於ける京城府在住民は戶數五萬八千零八十二人口男十三萬一千零三十八人女十二萬二千零三十八人合計二十五萬三千零六人にして是等在住民は日本人朝鮮人の他に英國、米國、佛國、露國、獨逸、伊太利、希臘、墺國、瑞典、瑞西、ブラジルの十一個國人を包含せり而して是等現住民職業別を見るに左の如し

▲內地人 農業、牧畜、養蠶、漁業者百五十八人同業被扶養者七百三人工業二千七百四十二人同業被扶養者八千五百六十七人商業及び交通業三千七百五十五人同業被扶養者一萬二千三百三十二人公務及び自由業者七千七百十九人同業被扶養者一萬九千六百二十九人其他の有業者千七百五十八人同業被扶養者四千六百五十九人無職業及び職業不詳者千五百六十七人同業被扶養者三千九百九十九人而して有業者を男女別にする時は副業なき者男一萬六千十九人女千四百七十九人副業ある者男五十三人女四十八人なり

▲朝鮮人 農業、牧畜、養蠶、漁業九百五十九人同業被扶養者四千百五十一人工業五千三百人同業被扶養者二萬七百五十一人商業及び交通業六千八百四人同業被扶養者二萬四千四百四十二人公務及自由業七千七百十九人同業被扶養者十九萬六千二百九人其他の有業者千七百五十八人同業被扶養者四千六百五十九人無職業及び職業不詳千五百六十七人同業被扶養者三千五百九十九人にして之を男女別に見る時は有業者の副業なきもの男一萬六千十九人女千四百七十九人副業ある者男百五十三人女四十八人なり

▲支那人 農業、牧畜、養蠶、漁業八十二人同業被扶養者百九十一人工業五十三人同業被扶養者二百八十九人商業及び交通業二百十九人同業被扶養者六百十二人公務及び自由業十八人同業被扶養者六十六人其他の有業者三十六人同業被扶養者三十六人無職業及び職業不詳四十三人同業被扶養者百四十六人

▲英國人 工業四人同業被扶養者三人商業及交通業一人公務及自由業十八人同業被扶養者四十一人

▲米國人 工業三人同業被扶養者三人商業及び交通業二人公務及び自由業三十三人同業被扶養者七十一人無職業及び職業不詳一人

▲佛國人 工業一人商業及び交通業二人同業被扶養者三人公務及び自由業七人同業被扶養者五人

▲露國人 商業及び交通業一人公務及び自由業四人同業被扶養者六人

▲獨逸人 商業及び交通業三人同業被扶養者三人公務及び自由業十七人同業被扶養者一人無職業及び職業不詳者一人同扶養者四人

▲伊太利人 商業及び交通業二人同業被扶養者四人

▲希臘國人 商業及び交通業三人同業被扶養者二人

▲墺國人 公務及び自由業一人▲瑞典人 公務及び自由業一人▲瑞西國人 商業及び交通業一人公務及び自由業一人▲ブラジル國人 公務及び自由業一人

◎傷病兵罹災者慰問義金
京城府廳の取扱

歐洲聯合國の傷病兵罹災者を慰問し同愛の誠意を表し度き目的を以て今回聯合國傷病兵罹災者慰問會なるものの組織せられ一般志士仁人より寄附金募集の儀德川同會總裁より其の筋へ依賴あり京城市內に於ける寄附金は京城府廳にて取纏むる筈に付賛成の諸君は來る三月二十四日迄に現金を添へ申込まれ度しと申込金額は十圓以上とし十圓未滿の分は之を取纏め總代名義を以て寄附せらるゝは勿論差支なしと尙本會より直接寄附勸誘ありたる向と雖も寄附申込は京城府廳へ申出でられたしと十圓以上の寄附者の氏名は總督府にて新聞に廣告方取計ふ由

◆中學試驗第一日

五日はいよ〳〵入學試驗、問題の難易首尾如何は、當の少年達よりも父兄の方が心配らしく、中には應援に來た小父さんらしいのや、阿母さんらしい人も見ゐる、受驗場は一教室約五十名宛、一つ百五十名を收容したものもあつた、受驗場から出て來た少年達は心配顏うれし相な顏、何れもしまつたとか出來たとかとり〳〵の賑はしさ『毎年父兄や小學校の注意が行き屆く所爲か受驗者は何れも落著いて來ました……』と先生がおつしやつた

現在收容せる救護人員(記事參照)

◎陸軍記念日講演

來る三月十日の陸軍記念日には軍司令部及び師團司令部より將校を派遣し京城府內各學校及び仁川府內各學校に於て講演を爲さしむる筈なるが同日の出演將校氏名左の如し

▲京城高等女學校 步兵大尉 山崎定義
▲南大門小學校 步兵中佐 中村好
▲櫻井小學校 步兵少佐 宮崎明
▲西大門小學校 步兵大尉 前澤倉正
▲龍山元町小學校 步兵大尉 西川成德
▲日の出小學校 步兵大尉 宮地久衛
▲京城中學校 步兵中佐 小坙幸吉
▲仁川商業學校 (同) 竹內榮喜
▲仁川女學校 (同) 岡千賀松

◎神近市子は懲役四年

大杉榮殺害未遂事件の社會主義者大杉榮を殺害せんとした同人の情婦神近市子に對し五日午後二時橫濱地方裁判所に於て被告を懲役四年に處すとの判決言渡しありたり(東京特電)

◎奈良丸の渡米
出發の光景を活動寫眞に

豫て渡米の噂ありし浪界の頭目吉田奈良丸は大阪驛出發の光景を活動寫眞に撮影せしめ五日神戶より渡米の途に就けり(大阪特電)

◆中學入學試驗問題 (五日施行)

▲日本歷史科—(注意)答案は日本歷史科と地理科と別紙に作り毛筆にて書くべし
(一)德川時代に於て學者の名を擧げ且其うちの一人につき知れる所を記せ。
(二)左の人々を年代順に列べよ。加藤淸正、源義經、松平定信、上杉謙信、北條早雲(以上地理科と合せて五十分間)

▲地理科(注意)答案は日本歷史科と地理科と別紙に作り毛筆にて書くべし
(一)朝鮮の略圖を描き、次のものを記入せよ。洛東江、漢江、大同江、釜山、木浦、群山、仁川、元山、新義州、京城
(二)我が國の內地に於て石炭、銅、生絲、茶、漆器を多く産する府縣名を各々一つ擧げよ。(以上日本歷史科と合せて五十分間)

▲國語科 解釋
(注意)答案は毛筆にて書くべし
(一)左の文を解釋せよ
(イ)武州の東西に相模神宮あり。こゝにまうづるもの、誰か其のかみをおもひ出でて、皇室の御稜威を仰がざらん
(ロ)常に一さいふ文字をだに知らぬ顏に過したりといふ
(ハ)これはしとばかり花の吉野山。さいひし古人の句我をあざむかず。
(ニ)天皇は國務大臣の輔弼によりて一切の政務を親裁し給ふ
(二)左のことばを解釋せよ
(イ)大半(ロ)風聞(ハ)殺自(ニ)殺伐(ホ)あまつさへ(ヘ)なゝしく(ト)見上げた志(チ)空前なる大戰(リ)皇子ならたまふ(ヌ)三等の使ひつかを來る(以上讀方と合せて五十分間)

▲國語科 讀方
(注意)直に此の紙に毛筆にて書くべし
左の漢字に讀方をつけよ
(イ)荷造(ロ)無爲(ハ)膨物(ニ)委任(ホ)道逆(ヘ)頭る(ト)企つ(チ)振れ(リ)縫ふ(ヌ)著かす(ル)麦ふ(ヲ)方に(カ)惡む(ヨ)要ける(以上解釋と合せて五十分間)

◆救護會の事業
自活の精神を涵養する方針
僧侶となつた少年=勞働者と職業

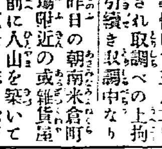
◎救護會では出獄者に對し一刻も早く正業に就かしむべく其方法を講じてゐるが偶分犯罪者の常癖として一定の職業に飽き易く應々他に轉せんとする傾向があるので餘程の嚴重な監督を要する次第であるが中には其性質年齢其他の關係から雇入として從事し難い者もあるので是等は監獄で習得した藁細工の如き職業に從事せしめ又會の方で一町歩許りの地所を有してゐるから茲で農業を行らせてゐる者もある、何收容者中達は他に出て勞働し幾分の賃金を得て夜は收容所に歸つて起臥し一般の者と共に夜業を營んでゐるものもある

◎副業としては藁細工紙袋の貼付等が重なもので十二月末現在の職業別は次の通りである
僧侶一 雜貨商一 新聞販賣一 洋服職工一 板力職工一 煙草袋貼附職工四 彈夫一 衛生人夫一 下男三 日傭三 撥第一 其他四

◎右の內僧侶になつたのは年少者で龍山某寺の鮮僧が同人の前途一切を引受けて小僧に貰つた、其他每日勞働に從事してゐるもの、中働き先で寢泊りを許す所があれば收容所の許可を得て外泊してゐる、是等の賃生活の模樣を見るに出獄の際に多少の作業給與金を受ける時に衣類を所持してゐるものもあるが大抵は著のみ著の儘の者が多い、

◎是等は收容に際し貸與又は給與してゐるが目下の所三十三名が制限となつてゐるから身體の虛弱の爲め就業し得ざるもの、外は勞働に依つて得た收入を以て衣類代を辨償せしめて蒲團其他蚊帳等の用具は會の備付品を無料で貸與してゐる、一人分の寢具は夏は敷蒲團一枚、冬は著蒲團一枚を二枚と定めてある

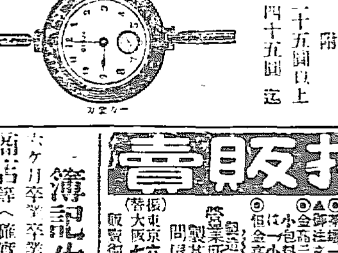
◎毎日の食事は一切收容所で賄ひ收容者に自活の精神を涵養する爲め實費辨償方法を執つてゐる、斯の如くして共同自炊は相當の好果を收めてゐるが一回の食費は四錢三厘乃至四錢四厘で辨じ得る事になつてゐる、朝は大抵味噌汁、晝は漬物又は燒魚、夕刻は煮物位である(つゞく)



▲昨日の朝南米倉町市場附近の或雜貨屋の前に人山を築いてゐた群衆の中に垢染みた襤褸服を著けた賤人體の若い男が汚い拳で眼を擦つて口惜がつてゐた▲何事だらうと聽いて見ると其雜貨屋へ買物に來た或下婢が往來へ銀貨を取落したのを擔軍が拾つて行つた、それを店番の鮮人が何う見違つたのか折惡しく其處を通り過ぎた件の洋服男が拾つたと下婢に私語いた▲すると下婢は色を變へて其男を引捕へ突如『金を返してくれ』と喚いた男は非常に憤つて下婢を毆り付けやうとしたが仲裁者があつて男の顏を立て圓滿に事濟みとなつた▲男は濕つぽい聲で『惡い事をする氣なら斯んな襤褸服は著て步かない』と何遍も云つてゐた

◎興業師引致さる 東京府四谷區鮫町生れ當時平壤櫻町居住興業師山本貞次郎(三六)は某事件にて三月二日平壤警察署に引致され取調べの上拘留處分に附せられ引續き取調中なり

▲廣告▼
土地家屋買入
◎土地建物即賣大會は三月中旬より開催
◎低利土地建物抵當貸附可仕候
◎放資用土地賣買ハ至急御申込
京城府太平通二丁目七八 大同生命保險京城代理店 多田不動産信託所 京城不動産即賣會 電話一二二一番

最近流行の金側腕時計

革附 金二十五圓以上 金四十五圓迄
鎖付 金四十八圓以上 金六十五圓迄
地方御注文は代金引替にて早速御送附申上候
京城本町一丁目 平井動資堂 電話二二〇一番 振替二二六一番

京日案內
普通 一回前金 一行五十錢 番外 一回前金 …
▲申込及中途解約中止の節は前金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信料封入にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
◎果樹園 京城接近の地に三千坪ある 賃又ば賣切す 京城旭町一ノ一 電話二三一番 井上出張所 644
◎制限利息信用融通 沿線有給の方へも(新龍山入口右側裏通) 京城漢江通六番地七二號 伊勢屋 651

番外
中古自轉車 格安品只今澤山持合あり ツツキ自轉車店 南大門通り三丁目 電話三〇番 627
◎今般 市區改正に付改築中當分の間休業仕候 御得意樣へ しる粉 お汁粉 銚月 本町三丁目 自動電話二三七二 652
勞役者募集 日本人五名 朝鮮人五名 京城南大門驛前 內國通運會社京城支店 確實なる保證人ある者至急來談あれ 649
ツキモンド號 ウス サ 自轉車 京城南大門通一丁目 電話二八九三番 振替京城三四〇六番 清水自轉車店 650
有給外務員採用 三十歲以上 午前來談 京城明治町二丁目四六 東京國債支部 645
恩給年金 退隱料 扶助料 即時立替 證書確實保管 京城吉野町一ノ六九 電車停留場約一丁半上(仲之新地入口前) 俵屋 613
恩給年金 低利長期即時立替 短期無保險 京城南大門外 京義線沙里院 西鮮支店 廣川商店 山口屋 640

宇治茶直接販賣
◎御茶銘錄定價表(二月一日付) ◎玉露製 ◎煎茶製 ◎挽物製
…製茶問屋 井上六平 本店 山城宇治 營業所 京都七條東洞院角 振替 東京六二九三 大阪七一四 …

簿記生徒募集
六ケ月卒業卒業後ハ銀行、會社、商店等ヘ確實ニ就職照介ス規則書要二錢
京城明治町 京城簿記專修學校

最新刊
◎電氣大辭典 上下卷 入船勝治 特八、〇〇
◎舶用機關問題詳解 瀬戶保 一、五〇
◎大日本 人類の遺傳 山內繁雄 一、八〇
◎鶉子吼 石川義道 一、三〇
◎大戰の審判 寺尾泰次郎 一、〇〇
◎ニイチエ全集 人間的な餘りに人間的な 一、六〇
◎兒獨 藤田進一郎譯 八五
◎大正六年國民年鑑 國民新聞編 五〇
◎朝鮮の金鑛 町田長作 一、〇〇
◎和歌講話 若山牧水 八〇
◎河竹默阿彌 河竹繁俊 一、六〇
◎家庭醫學叢書十冊 伊藤尚賢 一、五〇
◎東京の解剖 長谷川濤涯 六〇
◎トルストイ遺書開の力 中村吉藏譯 七〇
◎おいしくて手輕な料理と菓子の拵へ方 奥村繁次郎 六〇
◎古今英傑最後の悲劇 伊藤林水 三五
◎日本名探偵手記 高橋雨萌 五〇
◎朝鮮語官吏受驗者必讀 法律講義 坂上網吉 特七五
◎同 法律問答 同 四〇
大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話一六六番 振替京城二五七三番

▲山縣五十雄、村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番
內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り 無料施療す
醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

怒濤の月

九十八 小林蹴月作 武内桂舟畫

慈悲？無慈悲？「十八」の四

『おツ、先生さま、お歸りだかの。寒くはあるだが、日和が好いので、お前さまのやうに運動好きの人には結構で御座りますだの。』

『ねい、至極仕合せですよ。義郎君は、もう御出勤になりましたかね。』

『疾の昔に出て行きましたよ。これお靜よ、何故、番茶でも出して、先生さまに進げねえだの。』

『いや、茶も別に欲しくはありませんが……。』と、幸三郎は、凡眼にそれとなくお靜の顏を見やつて、

『お靜さん、何だか僕は、頭が重くて不可から、少し座敷の方で寢まして貰はうと思ふがね。』

お靜は、腹の中で、良人からお靜さんと呼ばれるのが、何となく窮屈な氣がして堪らぬのであつたが、それを言ひ立てると、問題が自然と夫婦關係の秘密にまで及ぼして來ると思ふので、何にも言はずに『はい』と答へて、機嫌好く座を起つたのである。

幸三郎は、然り氣なき態で、その後影を見送つたが、腹では同じく可哀さうな女であると思つた。

『武藤さん、郵便……。』

草鞋穿きの郵便脚夫が、急ぎ足に門口から一通の封書を投り込んで行つたのである。お靜は、何心なしにそれを拾ひ取つて、裏表を打返して見ると、宛名は正しく良人の幸三郎で、差出人は『東京にて白富網代子』と、なまめかしい女文字であつた。

左らぬだに良人の擧動に就いて、樣々ならぬ事、不深な事、悲しい事、切ない事、怨めしい事だらけで充たされて居たお靜は、偖こそと、肚胸を突きながら、二三遍封書の裏表を打返して見て、覺わず熱い溜息を吐いたが、田舎育ちの正直一途なる彼女は、その儘それを幸三郎の前へ持つて來て

『郎君、東京からお手紙が……』と、優しく手渡す。

『は、はあ、僕の許へ來たのかね。僕は又、義郎君の許へ來たんだと思つて……。』

言ひながら、幸三郎は、裏を返して見ると、是は又、お靜の豫惜以上であつた。生死さへ分らぬ網代子から、今時分此の隱れ家へ手紙の來やうとは、眞個寢耳に水の出來事なのである。彼は、直にその場で、封を押破つて、中を見たいのは、山々であつたが、老婆とお靜の手前、押破る事が出來ない。内面の事情は兎もあれ、お靜は明かに親兄弟も承諾して、公然と三々九度を交した眞實の妻ではないか。その妻の面前で、東京の女から來た手紙を什うして披かるゝべき筈があらう？

幸三郎は、果して、顏から火の出るやうな工合わるさを感じた。

『先生さま、東京の阿母さまからで御座りますだかの。もう近い内には此方へ嫁の顏を見に來て下さると云ふお話で御座りますだが、定めしそれに就いてのお手紙で御座りませうの。』

幸三郎は、益々弱り且つ困つた。

『なに、此の手紙はこりや、書の事に就いて、東京の友人から寄越して呉れたんです。』と、一寸遁れの嘘を吐いて、封書はそれなり二ツに疊んで、袂の底へ投げ込んで了つた。

『それはまあ、書の事の御用なんで御座りますだかね。』と、老婆は、それでも深い疑ひらしい顏も爲ずに、首を引込めたが、その始終を見届けて居たお靜は、流石に悋の火の燃ゆ立つやうな嫉妬の炎と、口惜しさ怨めしさの涙が、兩眼からはら／＼と流れずには居なかつたのである。

『阿母さん、妾は死にます。』

突然氣でも狂つたかと思はるゝやうな鋭い聲で、斯う叫びながら、お靜はワツとばかり爐邊へ泣き崩れたのであつた。今まで堪へに堪へきつた極端の悲哀が、今の封書の表書を見るに及んで、赫ッと一時に逆上したのである。

『お靜よ、汝やまあ突然に何を喚き出すだよ。死ぬやうな悲しい事あるだら、何故早く俺に言はねえだぞ。』

老婆の驚きは、無論無理のない所であつたが、更に立場を失ひ果てたのは、幸三郎であつた。

『お靜さん、詰らん事を言ふもんぢやない。死ぬなど云ふ事は、人間容易に爲べき事でもなければ、又出來得べき事でもないのに、何だつてそんな莫迦な事を言ふんです。』

幸三郎は、詮事なしにお靜の肩を撫つて、慰むるやうに諭しては見たものゝ、その原因は固より、明かに自分に分つて居るのである。

『無理はない、無理はない。』と、口の中で呟いで居た。

寫眞 四割引 明治町東拓手前 取次電二五三五 大城寫眞舘

自由戀愛の破産

早稻田大學教授 内ケ崎作三郎

所謂新しい女の運命

□或る新らしい女 が二人で或る男と通じ、嫉妬の結果、一人の女がその男を刺したことは、遍く新聞で傳へられたことであつたが、その公判が愈々過日から開かれた。吾輩はこれを見て、彼等の主張する自由戀愛が、彼等の爲めに破産したことを、頗る面白い因果と思ふのである。

□所謂新しい女 の主張を聽くと、男女は同じ人間である。男の爲す所を女が出來ない筈はないと、一知半解な生學問で、政治も談じたがる、哲學も論じたがる、男の飲む酒も、男の飲む煙草も飲まなければきかなくなる。家の外に出歩きたがる、入る可からざる所に入りたがり、遂には戀愛の自由を說き、不義邪淫至らざるなしと云ふ有樣である。

□放縱邪淫の罪惡 なるは、男子共然るのであるに、婦人がその犯す可からざる行爲をなし、共に不德の人となつて、男子の不德を復讐し得たと考へるに至つては、何たる見下げたる心根であらう。克己し、努力し、終生の伴侶たる可き男子をして、その放縱邪淫より救ひ出し、復活したる世界に入らしめることこそ意義ある女の行爲ではないか。

□新らしい眞意義 は實にこゝにあるのであつて、一體新らしい古いと云つても二者相離れて居るものではない。古きがあつて新らしいのがある。例へば樹に野山は春風が吹いて、新芽を出さんとして居るが、この新らしい芽と雖、古い幹がなくては出て來ない。古い幹と新らしい芽は、實に離れて存在が出來ないのである。只新芽は新に生命を呼吸して行き、その新らしい使命があるのである。

□古きに出て、新しいものが、眞に新らしいものであつて、古き基礎の上に立たず、新しがると云ふことは、世界が存在を許さない突飛ものである。人間もこれと同じく、古い女の本性に立歸り、この上に築き上げた女は、眞に新らしい女であるが、然らずして變つた行爲をするは變り者と云ふ可きで、決して新らしい女ではない。適者生存の世の中には、かゝる變り者を容れる餘地はないのである。彼等の說く自由戀愛が彼等自ら破壞するのやむなきに至つた如きは、實に當然の結果と云はなければならぬ。

□今日の女の墮落 は實に久しい間男子の不德に壓迫されて居た女が、その憤懣の餘、自棄自棄になつたものが、男子の不德を倣つて、得々として新らしがつたにあると思ふ。かくては眞の新らしい女ではない。もし眞に新らしからんとする女は、古き女の本性に歸り、こゝに彌足して眞の新らしい女としての建設を志す可きである。

新刊紹介

▲大正辭典（九鬼築助丘喪三共編） 本辭典の特色は一般辭典の從來の不便なる檢索法を一新し漢字に關する一切の學理學說を超越し最も簡易なる索引法を案出し以て純然たる實用的辭典たらしめたるにあり即ち大別して字形索引漢字部、字音索引熟語部の二とし前者に於ては漢字の字形を分解して其の運筆の順序に依り四個の母形を索出し極めて簡易に所要の文字を索引し得ると共に歐文辭書と同樣一字の轉倒も脫漏も一目に判別し且類似文字を一定の範圍内に聚集するに便し後者に於ては之を羅馬綴の發音に依り日常の口語其他の索引法を採用して所要の文字を知ると同時に更に正式の字音をも知るに便したり繁忙なる業務に從事し或は文筆に關係ある士は本書の簡便なる索引法に依つて特に便宜を得る事少なからざる可し（二圓五十錢東京市神田區錦町一明治書院）

▲少年（三月號） 表紙極彩色附きの奇抜なる意匠、口繪には『桃咲く春』『誰れ遊ぶ波』の寫眞版に『新様綱大錦繪』『珍妙なる顏』等寫眞版には『獨逸に對し國交の斷絶を宣言せるウイルソン大統領』『英國航空隊の活動』等何れも一粒選りの材料を網羅し記事には谷津博士、飯塚博士、福島大將、佐伯海軍中監諸氏の有益なる談話横山博士の『猫に化たる二百噸の大石』記者の『軍艦筑波の爆沈に際し重大なる任務を果せし勇敢なる青沼信號兵』滑稽小說『飛行眼鏡』冒險小說『少年射撃家』其他新に本號より掲載せる『鶯姉妹物語』立志小說『復讐』軍事小說『密書の行衞』探偵奇譚『暗中の人影』等尚本號には新年特別大懸賞當選發表及び當選者七百人の特別懸賞あり（十六錢東京時事新報社）

▲獨逸帝國（坂本建一著） 九ケ國を敵として戰ひつゝある獨逸の建國以來一千年に渉る歷史を最も通俗的に記述し而して新獨逸帝國が近々五十年の間に今日の驚く可き强大を致せる所以並に國體政體汎獨逸主義等に就ては特に意を用ひ以て其の眞相を紹介せん事に努めたり時勢の要求に適合せるの著と謂ふ可し猶ほ欄外に時代を追うて參考に資す可き各種の事蹟を列擧せるのみならず幾多の歷史畫を配したるは其の用意周到なるを見るべし（四十五錢東京市日本橋區本町三博文館）

商況

大阪期米（三日）

	三月限	四月限	五月限	[illegible]
五日前場	一八六、一〇	一八三、九〇	一八〇、五〇	一七九、〇〇
[illegible]	一八六、四〇	一八三、九〇	一八〇、八〇	一七九、〇〇

仁川期米

	付	高値	安値	止め
[illegible]	一四〇二	一五、〇二	一四、八八	一四、八九
[illegible]	一五二〇	一五、三〇	一五、一九	一五、一九

▲保合小堅し 大阪の小堅き入電に七圓二十二錢 [illegible] 強き成行を示して取合 [illegible]

▲能く賣る 石等にて他は小口商内であつた 今後場同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事 一圓三千餘石の買ありたる [illegible]

▲當中の其後 今朝立會前新規賣買停止したるより一般の取引を見ず新規賣買停止の意味に疑義 [illegible]

▲現物界 十石中與 [illegible] 七百五十石先限二萬九千三百 [illegible] 五十石とかに [illegible]

三日の五月限 十三圓二十三錢 十三圓二十二錢

賣買取組高 三萬七千二百五十石 九萬八千七百五十石 二萬九千三百五十石

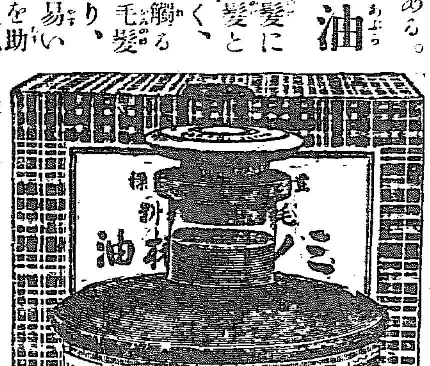
○ミツワ椿油

熱した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髪の衛生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

定價 小壜……金貳拾錢 中壜……五勺入……金參拾錢 大壜……壹合入……金五拾五錢 罐入……五合入……金貳圓五拾錢

○ミツワ椿油は製造法を改良し、新鮮な椿の實を精選して、特に内地に取寄せ、外皮を惡く取去り、冷壓法で少しも熱を加へずに搾取したもの故に、厭ふべき臭氣を發する遊離酸や、含窒素物等を含んで居無い、新鮮純良な椿油である。

○ミツワ椿油を平素用つてゐると毛髪に滲込む力が強いので毛髪と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髪に接觸する結果、漂白と云つて、毛髪の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、毛髪の發育を助け艶を美しくし、凝つて臭氣を發することも無く、毛髪の發育を助けて、何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。



新案特許──純良護謨製 大阪 宗田商店鑑製

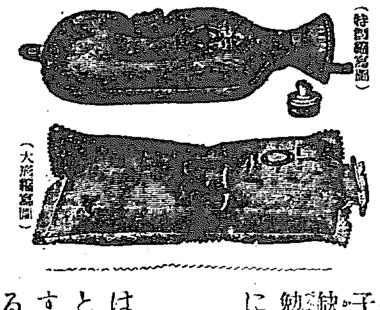
○ミツワ水枕

凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず

定價 大形 金壹圓 中形 金八拾五錢 小形 金七拾錢 特製 金參圓

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものであります＝學生が勉强して疲れた時などは水枕をすれば忽ちに元氣を快復します。

○ミツワ水枕 は枕の内に割壁を設け、中へ氷水を入れると自然に凹字形になるやうに製してあります、左右に搖れたりチヤブチヤブしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。締金も又、多年苦心の結果漸く案出したる、極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。

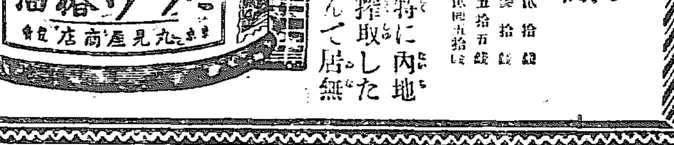


(特製縮寫圖) (大形縮寫圖)

賣捌 全國到る處の雜貨店、小間物店、化粧品店、藥種店等にあり 最寄に取次店なければ本舖へ直接注文あれば郵便小包にて送る 代金引換小包郵便にても宜し 東京市内は假令一壜一個にても配達す（市内は送料不要）

○丸見屋商店 東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、化粧品、石鹸、香粧品、小間物問屋 電話浪花四四八・四四九・四五〇番 振替口座東京七一〇番

朝鮮總督府許可



■内用精 効能 神經衰弱、神經痛、老衰、疲勞、病後、胸病、胃腸病、痔病、子宮病、營養不良より起る諸病の滋養强壯劑なり

■外用精 効能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、肩の凝、蟲に螫れたる時、筋の張れ等によし

定價 六十錢 十二錢 二十五錢 四十五錢 三圓 六十錢 一圓 二十五錢

人參直取引大販賣所 人參エキス 滋養藥 朝鮮名産一切 京城本町一丁目 製造本舖 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一〇番

京城本町一丁目 津村兄弟商會人參部 電話一八七〇番

支店 龍山元町二丁目 龍山支店 京釜線大邱驛前 大邱支店 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 釜山支店

其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一藥舖に無之地方は直接本舖に御注文次第速に發送可仕候代金は振替に依る事が最も安全且つ御便利に候本店支店共市内は御一報次第配達仕候

金泉醴泉間自動車時間
上り 金泉發・尙州着・尙州發・龍宮發・咸昌發・醴泉着（一番・二番）
下り 醴泉發・龍宮發・咸昌發・尙州着・尙州發・金泉着（一番・二番）
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番 ▲小荷物運搬仕り候

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發・安康同・慶州同・阿火同・永川同・河陽同・大邱着（一番・二番）
下り 大邱發・河陽同・永川同・阿火同・慶州同・安康同・浦項着（一番・二番）
大塚農場自動車所 大邱出張部 電話二二七番 浦項 電話七番

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）行 相模丸 三月十日 正午出帆 花咲丸 三月二十日 正午出帆 [illegible]丸 三月 日 正午出帆
仁川海岸町十一丁目 堀 回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 ○大有丸 三月十日 後五時出帆 ○秀吉丸 三月十一日 後五時出帆 ○君が代丸 三月十八日 後五時出帆 ○神代丸 三月二十一日 後五時出帆
仁川海岸通二丁目 杉 回漕部 電話五十九番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 ○和歌浦丸 三月十四日 後五時出帆 ○立神丸 三月十三日 後五時出帆 ○元山、清津、浦鹽行 ○和歌浦丸 三月十二日 後十時出帆 ○立神丸 三月廿三日 後四時出帆 ○元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 三月六日 後六時出帆 門司、宇品、神戸、大阪行 ○第三琴平丸 三月 日後六時出帆 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○第三琴平丸 毎月二日九日十四日廿六日 ○天草丸 ○午後十時出帆
釜山大廳町 大池回漕部 本船取扱店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五番二三番 京城出張所 代理店各京城店にて 京城南大門通 松原通運店（電話一七〇番）
○全羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 三月十五日 釜山發 門司より釜山各港寄港雄基間航路
○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 三月五日 元山發 元山より各港經由雄基行
○昌平丸 三月 日 元山發 中部各港經由長崎行
○盈德丸 三月 日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 釜山發 浦項發 長生浦方魚津寄港
○三浦丸 三月七日 釜山發 長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港
○海州丸 ○統營丸 毎日 釜山發 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶寶丸
○平壤丸 ○忠淸丸 三月七日 元山發 城津清津雄基行後航釜山より門司又は長崎行
○順天丸 三月日每二 木浦發 各港經由麗水行間木浦より釜山行に接續
○慶興丸 三月 日 木浦發 各港經由濟州島行西廻
○慶興丸 三月六日 木浦發 南多島海列島行月三回
○公州丸 三月 日 木浦發 各港經由濟州島行東廻
○江原丸 三月 日 仁川發 芝罘、大連、青島行
○麗水丸 ○晉州丸 三月 日 仁川發 各港經由木浦行
○錦江丸 三月五日 仁川發 海州他各港經由鎭南浦行
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、喬桐島、海州行

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 伏見丸 三月六日午後入港 三月八日正午出帆
朝鮮總督府命令
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
元山代理店 濱田口回漕部 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路（淡洋航路を除く）海運航船の時は五分引を以て通帆切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 ○仙頭丸 三月十八日 後五時出帆 △永田丸 三月十五日 後五時出帆 ×山陽丸 三月十一日
○木浦、釜山、巌原、鄉の浦長崎行 ×安東丸 三月九日 後二時出帆 ○安東丸 三月廿七日
○群山、釜山、横濱行 △福州丸 三月二十五日 後一時出帆 △チヨイサン 三月
○群山、神戸、大阪行 ×漳州丸 月 日後五時出帆
○鎭南浦、大連行 ×安東丸 三月廿二日後二時出帆
○大連直航 ×安東丸 ×福州丸 三月十五日 正午出帆 三月六日
○神戸、大阪行 潮州丸 月 日正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆）△印城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 △安平丸 三月十五日 後十二時出帆 △宮島丸 三月廿一日 後十二時出帆 ○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 三月十三日 前六時出帆 基隆丸 三月廿九日 後四時出帆
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と聯絡切符發賣仕候●御乘船の際は一時間前に御出帆の事 ●御乘船客の手荷物は本船にて…
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番二一〇番二五番 京城切符發賣所 内國通運會社支店